土地改良事業計画概要書
（第１回変更）

県営東頸北部地区
農業用用排水施設整備、農用地改良保全
（中山間地域農業農村総合整備）事業

目　　次

第１章　目　　的 ---------- 1

第２章　地域の所在及び現況 ---------- 2
　第１節　地　域 ---------- 2
　第２節　地　積 ---------- 2
　第３節　現　況 ---------- 3
　第４節　地域環境の概況 ---------- 26

第３章　基本計画 ---------- 27
　第１節　事業計画の要旨 ---------- 27
　第２節　営農計画及び土地利用計画 ---------- 28
　第３節　用水計画 ---------- 30
　第４節　排水計画 ---------- 42

第４章　工事又は管理の要領 ---------- 50
　第１節　工事の内容 ---------- 50
　第２節　管理の要領 ---------- 50

第５章　換地計画の要領 ---------- 50

第６章　費用の概算 ---------- 51

第７章　効　　用 ---------- 52

第８章　他の事業との関係 ---------- 53

第９章　計画概要図 ---------- 53

第１章　　目的

本地区は、新潟県上越市の東部に位置する「浦川原区」「安塚区」「大島区」の10集落で構成される。

いずれの区も全国有数の豪雪地帯であり、古来より天水田の棚田が形成され、水稲を主体とした農業生産活動の維持による地域環境・景観の保全が行われてきた地域であるが、高度経済成長等の社会構造の変化や、厳しい自然条件等の理由により、離農や耕作放棄が進み、農業生産活動の継続が懸念されている。

本事業では、農業生産基盤整備と併せて農村振興環境整備を総合的に行うことで、地域特有の条件を生かした農業と活力ある農村づくりを促進するものである。

第２章　　地域の所在及び現況

第１節　地域

事　　業　　名	地　　域
農業用用排水施設整備	新潟県上越市大島区嶺、下達、大平、菖蒲、浦川原区東俣、虫川、菱田、中猪子田、安塚区板尾、和田、坊金
農用地改良保全	新潟県上越市大島区嶺、菖蒲、浦川原区東俣、安塚区和田、坊金

第２節　地積

（令和8年4月現在）
（令和3年8月現在）

事　業　名	現況地目／市町村名	田 (ha)	畑 (ha)	原　野 (ha)	山　林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備　　考
農業用用排水施設整備	上越市	69.1	0.1	—	—	—	69.2	
	計	69.1	0.1	—	—	—	69.2	
農用地改良保全	上越市	34.3 35.5 (18.4) (20.8)	—	—	—	—	34.3 35.5 (18.4) (20.8)	※農業用用排水施設整備と重複
	計	34.3 35.5 (18.4) (20.8)	—	—	—	—	34.3 35.5 (18.4) (20.8)	
合　　計		85.0 83.8	0.1	—	—	—	85.1 83.9	

（　　）は重複受益である。

第３節　現　　況

１．　気象

（１）一般気象

観測所名	安塚観測所	かんがい期	非かんがい期	計又は平均	備　　考
観測期間	1953年 ～ 2019年	5月～8月	9月～4月		
平　均　気　温　（℃）		20.9	7.6	12.0	年平均1991年～2020年
降 水 量	平　均（㎜）	672.8	2006.2	2679.0	月平均 223.3㎜
	基準年（㎜）	―	―	―	
降水日数	平　均（日）	52.2	160.8	213.0	月平均17.8日
	基準年(日)	―	―	―	
根　雪　期　間		11月25日　～　4月 6日		133日間	高田観測所2009年～2020年 平年値
無　霜　期　間		4月14日　～　11月19日		220日間	高田観測所1991年～2007年 平年値(参考値)
最　多　風　向		SSW	最大風速 (風　向)	15.0 m/s (WNW)	最多風向発生時期　5～10月（2009年～2020年） 最大風速発生年月日 1979年3月31日

（２）特殊気象

観測所名 安塚観測所	第　１　位			第　２　位			第　３　位			第　４　位			第　５　位			備　考
観測期間 1953年 ～ 2019年	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	
最大日雨量 (mm)	150.0	1995.7.11	1/29	138.0	2019.10.12	1/19	136.0	2017.10.23	1/18	135.0	1985.7.8	1/17	127.0	1998.9.16	1/13	
最大連続雨量 (mm)	804.0	1980.12.12 ～ 1981.1.14	1/410	683.0	1984.12.2 ～ 1985.1.8	1/107	566.0	2010.12.27 ～ 2011.2.1	1/30	504.0	2012.1.23 ～ 2012.2.19	1/15	421.0	2001.1.10 ～ 2001.2.4	1/6	
最大連続干天日数 (日)	49	1994.7.3 ～ 1994.8.20	1/365	43	1985.7.21 ～ 1985.9.1	1/142	31	1984.7.27 ～ 1984.8.26	1/20	30	1981.7.5 ～ 1981.8.3	1/16	29	2012.7.15 ～ 2012.8.12	1/14	

2．　地形、地質及び土壌

（1）地形

事業名	地目	田						畑・その他						受益地標高（m）		備考
	傾斜区分	1/1,000 未満	1/1,000 ～ 1/100	1/100 ～ 1/20	1/20 ～ 1/11.5	1/11.5 以上	計	3° 未満	3° ～ 8°	8° ～ 15°	15° ～ 20°	20° 以上	計	最高	最低	
農業用施設整備 用排水	面積（ha）			35.1		34.0	69.1			0.1			0.1	460.0	25.0	
	比率（%）			51		49	100			100			100			
農用地改良保全	面積（ha）			10.0 (7.7)		24.3 25.5 (10.7) (13.1)	34.3 35.5 (18.4) (20.8)							460.0	40.0	
	比率（%）			28		72	100									
合計	面積（ha）			37.4		47.6 46.4	85.0 83.8			0.1			0.1			
	比率（%）			45		55	100			100			100			

（　　）は重複受益である。

（2）地質及び土壌

土壌は、D31強グライ土壌強粘土斑鉄型であり、排水性がきわめて悪い。

３．　水利状況

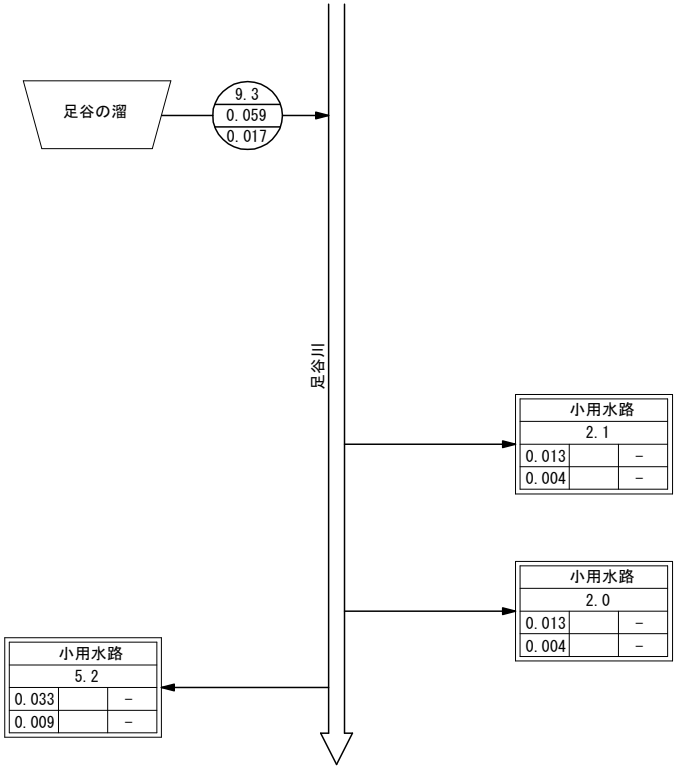
（１）用水状況

竹平工区 -------- ため池を用水源とし、開水路方式によりかんがいしている。
細越工区 -------- 一級河川保倉川から揚水機で取水した水をため池に貯留し、自然圧によるパイプライン方式にてかんがいしている。
東俣工区 -------- 渓流水及びため池を用水源とし、開水路方式によりかんがいしている。
虫川工区 -------- 一級河川細野川から井堰より取水し、開水路方式によりかんがいしている。
菱田工区 -------- 渓流水を用水源とし、開水路方式によりかんがいしている。
直峰工区 -------- 渓流水を用水源とし、開水路方式によりかんがいしている。
中猪子田工区 ---- 一級河川保倉川から揚水機にて取水し、開水路方式にてかんがいしている。
菖蒲工区 -------- 一級河川堀切川を用水源とし、自然取水による開水路方式にてかんがいしている。
坊金工区 -------- 渓流水をため池に導水し、開水路方式及びエンジンポンプによる直接取水にてかんがいしている。

（ア）用水系統

現況用水系統模式図のとおり。

竹平工区　現況・計画用水系統模式図



単位用水量 (m³/s/ha)	
代掻期	普通期
0.006264	0.001771

凡　例

ため池

取水工

他事業又は既設利用

地区界

本地区分

（イ）		
（ロ）		
（ハ）	（ニ）	（ト）
（ホ）	（ヘ）	（ト）

（イ）路線名
（ロ）面　積
（ハ）代掻期所要水量
（ニ）代掻期利用可能量
（ホ）普通期所要水量
（ヘ）普通期利用可能量
（ト）不足量

地区外分

（イ）		
（ロ）		
（ハ）	（ニ）	（ト）
（ホ）	（ヘ）	（ト）

通水量

（イ）
（ロ）
（ハ）

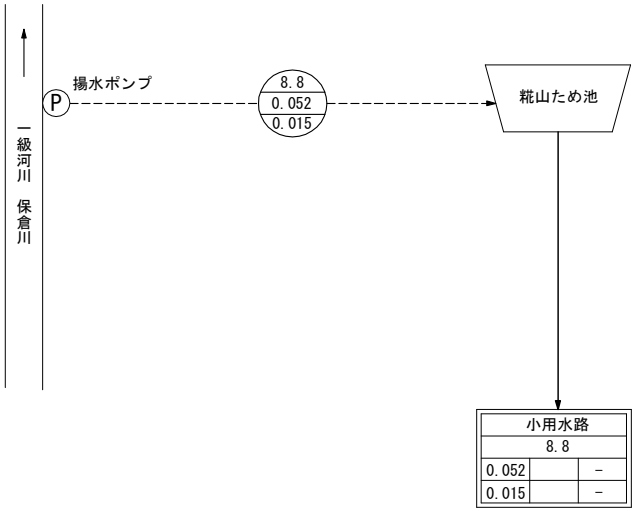
（イ）面　積
（ロ）代掻期通水量
（ハ）普通期通水量

還元水量

（イ）
（ロ）
（ハ）

（イ）面　積
（ロ）代掻期還元水量
（ハ）普通期還元水量

細越工区　現況・計画用水系統模式図

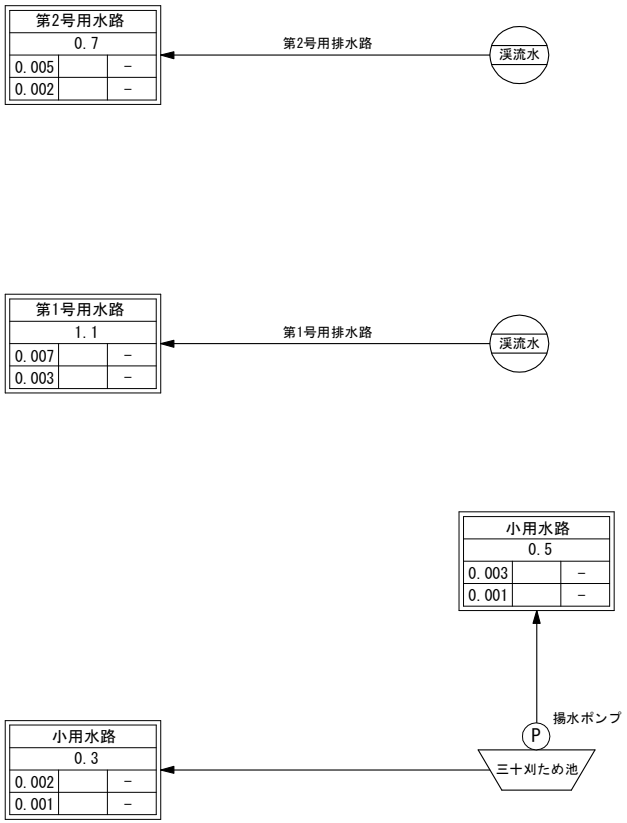


単位用水量 (m³/s/ha)	
代掻期	普通期
0.005916	0.001672

凡　例

	ため池
	取水工
	他事業又は既設利用
	地区界
本地区分 （イ） （ロ） （ハ）（ニ）（ト） （ホ）（ヘ）（ト）	（イ）路線名 （ロ）面　積 （ハ）代掻期所要水量 （ニ）代掻期利用可能量 （ホ）普通期所要水量 （ヘ）普通期利用可能量 （ト）不足量
地区外分 （イ） （ロ） （ハ）（ニ）（ト） （ホ）（ヘ）（ト）	
通水量 （イ） （ロ） （ハ）	（イ）面　積 （ロ）代掻期通水量 （ハ）普通期通水量
還元水量 （イ） （ロ） （ハ）	（イ）面　積 （ロ）代掻期還元水量 （ハ）普通期還元水量

東俣工区　現況・計画用水系統模式図



単位用水量 ($m^3/s/ha$)	
代掻期	普通期
0.006445	0.002315

凡　例

	ため池
	取水工
	他事業又は既設利用
	地区界

本地区分

（イ）		
（ロ）		
（ハ）	（ニ）	（ト）
（ホ）	（ヘ）	（ト）

（イ）路線名
（ロ）面　積
（ハ）代掻期所要水量
（ニ）代掻期利用可能量
（ホ）普通期所要水量
（ヘ）普通期利用可能量
（ト）不足量

地区外分

（イ）		
（ロ）		
（ハ）	（ニ）	（ト）
（ホ）	（ヘ）	（ト）

通水量

（イ）
（ロ）
（ハ）

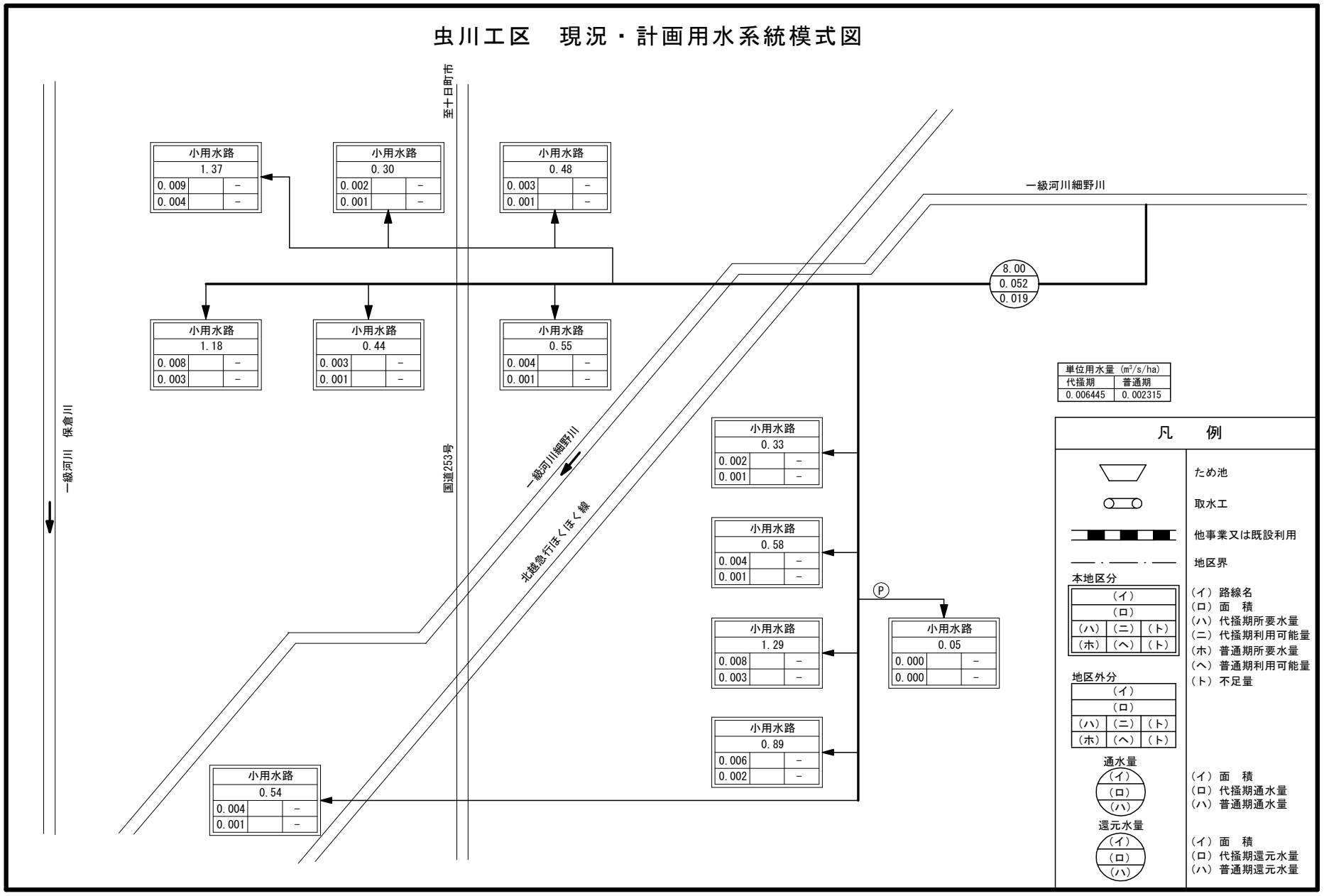
（イ）面　積
（ロ）代掻期通水量
（ハ）普通期通水量

還元水量

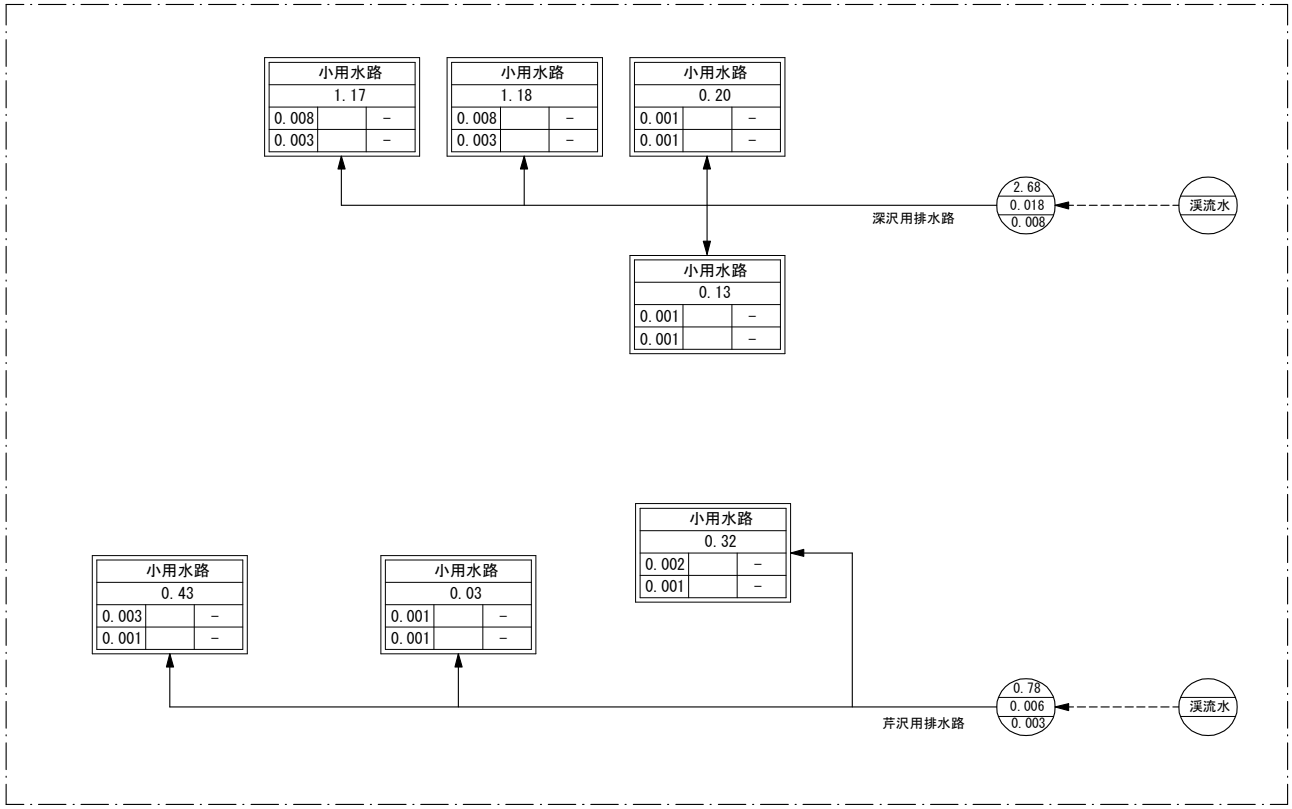
（イ）
（ロ）
（ハ）

（イ）面　積
（ロ）代掻期還元水量
（ハ）普通期還元水量

虫川工区　現況・計画用水系統模式図



菱田工区　現況用水系統模式図



単位用水量 (m³/s/ha)	
代掻期	普通期
0.006445	0.002315

凡　例

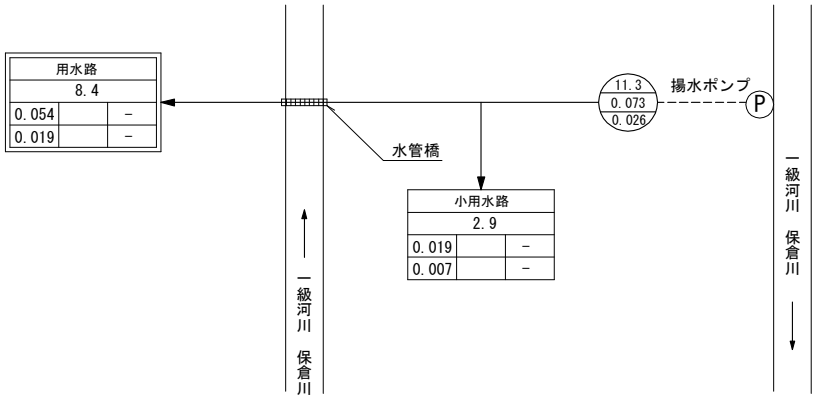


（イ）路線名
（ロ）面　積
（ハ）代掻期所要水量
（ニ）代掻期利用可能量
（ホ）普通期所要水量
（ヘ）普通期利用可能量
（ト）不足量

（イ）面　積
（ロ）代掻期通水量
（ハ）普通期通水量

（イ）面　積
（ロ）代掻期還元水量
（ハ）普通期還元水量

中猪子田工区　現況・計画用水系統模式図



単位用水量 (m³/s/ha)	
代掻期	普通期
0.006445	0.002315

凡　例

- ため池
- 取水工
- 他事業又は既設利用
- 地区界

本地区分

（イ）		
（ロ）		
（ハ）	（ニ）	（ト）
（ホ）	（ヘ）	（ト）

（イ）路線名
（ロ）面　積
（ハ）代掻期所要水量
（ニ）代掻期利用可能量
（ホ）普通期所要水量
（ヘ）普通期利用可能量
（ト）不足量

地区外分

（イ）		
（ロ）		
（ハ）	（ニ）	（ト）
（ホ）	（ヘ）	（ト）

通水量

（イ）
（ロ）
（ハ）

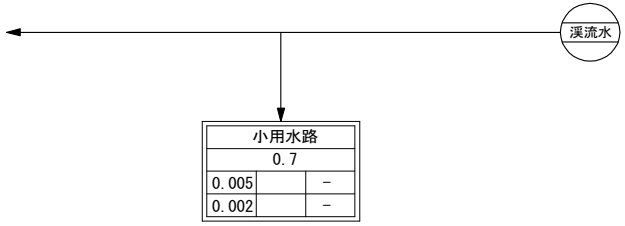
（イ）面　積
（ロ）代掻期通水量
（ハ）普通期通水量

還元水量

（イ）
（ロ）
（ハ）

（イ）面　積
（ロ）代掻期還元水量
（ハ）普通期還元水量

直峰工区　現況・計画用水系統模式図



単位用水量 ($m^3/s/ha$)	
代掻期	普通期
0.006445	0.002315

凡　例

	ため池
	取水工
	他事業又は既設利用
	地区界

本地区分

（イ）		
（ロ）		
（ハ）	（ニ）	（ト）
（ホ）	（ヘ）	（ト）

（イ）路線名
（ロ）面　積
（ハ）代掻期所要水量
（ニ）代掻期利用可能量
（ホ）普通期所要水量
（ヘ）普通期利用可能量
（ト）不足量

地区外分

（イ）		
（ロ）		
（ハ）	（ニ）	（ト）
（ホ）	（ヘ）	（ト）

通水量

（イ）
（ロ）
（ハ）

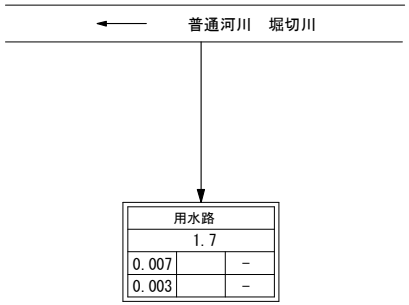
（イ）面　積
（ロ）代掻期通水量
（ハ）普通期通水量

還元水量

（イ）
（ロ）
（ハ）

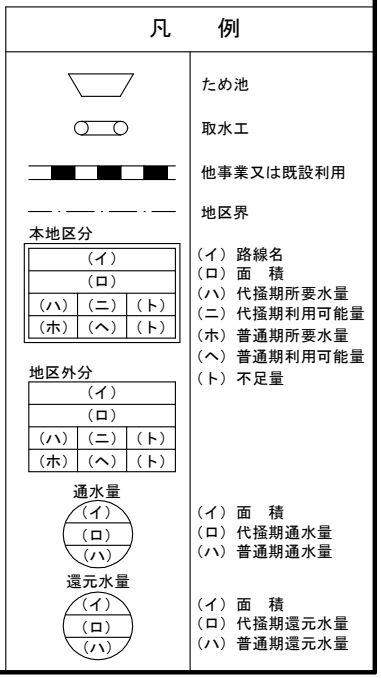
（イ）面　積
（ロ）代掻期還元水量
（ハ）普通期還元水量

菖蒲工区　現況用水系統模式図

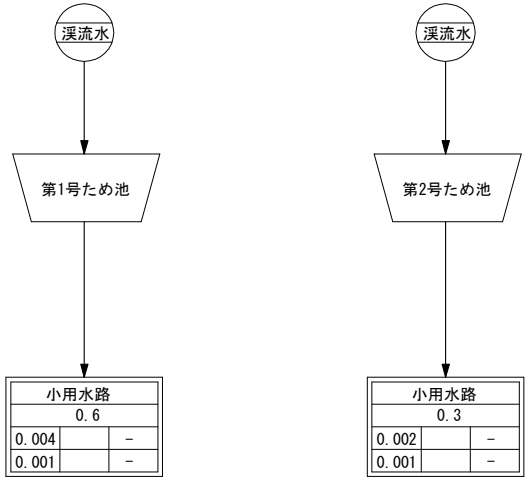


単位用水量 (m³/s/ha)	
代掻期	普通期
0.004031	0.001906

凡　例



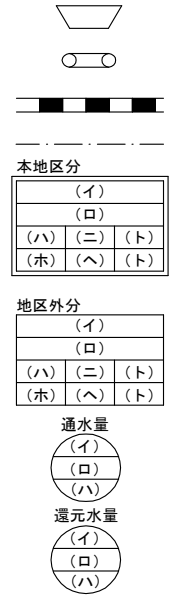
坊金工区　現況・計画用水系統模式図



-

単位用水量 ($m^3/s/ha$)	
代掻期	普通期
0.006264	0.001771

凡　例



（イ）路線名
（ロ）面　積
（ハ）代掻期所要水量
（ニ）代掻期利用可能量
（ホ）普通期所要水量
（ヘ）普通期利用可能量
（ト）不足量

（イ）面　積
（ロ）代掻期通水量
（ハ）普通期通水量

（イ）面　積
（ロ）代掻期還元水量
（ハ）普通期還元水量

（イ）取水方法一覧

事業名	項目 / 施設名	かんがい面積 500ha以上 箇所	かんがい面積 500ha以上 ha	かんがい面積 500～100ha 箇所	かんがい面積 500～100ha ha	かんがい面積 100ha未満 箇所	かんがい面積 100ha未満 ha	計 箇所	計 ha	許可水利権 箇所	許可水利権 m^3/s	慣行水利権等 箇所	慣行水利権等 m^3/s	延べ取水量 m^3/s	備考
農業用用排水施設整備	井堰					1	8.0	1	8.0						一級河川細野川
	自然取水口					1	1.7	1	1.7						普通河川堀切川
	貯水池					4	11.0	4	11.0						足谷の溜、三十刈ため池 坊金1・2号ため池
	揚水機					2	20.1	2	20.1						一級河川保倉川
	その他					5	6.0	5	6.0						渓流水
合計						13	46.8	13	46.8						

（ウ）改修を要する施設一覧表

事業名	項目／施設名	施設名又は箇所数	受益面積(ha)	構造	規模	新設年度又は更新年度	改修を必要とする理由	備考
農業用用排水施設整備	竹平工区 足谷の溜	取水ｹﾞｰﾄ1基 土砂吐ｹﾞｰﾄ1基	9.3	斜樋栓 土砂吐ゲート	φ100×5門 800×800	H12	破損	
	細越工区 糀山ため池	1箇所	8.8	土堤	V=2,140m3	H1	漏水防止	
	東俣工区 三十刈ため池	1箇所	0.8	土堤	V=2,380m3	S1	漏水防止	
	坊金工区 第1号ため池	1箇所	0.6	土堤	V=970m3	S50	漏水防止	
	坊金工区 第2号ため池	1箇所	0.3	土堤	V=550m3	S50	漏水防止	
	竹平工区 用水路	用水路	(2.0)	BF300	L=0.8km	S58	老朽化・破損	
	東俣工区 用排水路-1	第1号用排水路	1.1	土水路	L=0.1km	不明	水管理改良	
	東俣工区 用排水路-2	第2号用排水路	0.7	土水路	L=0.1km	不明	水管理改良	
	虫川工区 用水路	用水路	8.0	BF400	L=0.1km	S58	老朽化・破損	
	菱田工区 用排水路-1	深沢用水路	2.7	土水路 BF1000	L=0.1km	不明 S55	水管理改良 老朽化・破損	
	菱田工区 用排水路-2	芹沢用水路	0.8	土水路	L=0.1km	不明	水管理改良	
	中猪子田工区 用水路	水管橋	8.4	トラス橋	L=0.1km	不明	老朽化・破損	
	直峰工区 用排水路	用排水路	0.7	BF400～BF800 組合せ暗渠	L=0.1km	S55	老朽化・破損	
	菖蒲工区 用水路	1箇所	1.7	BF300	L=0.1km	S55	溢水防止	
合計			43.9					

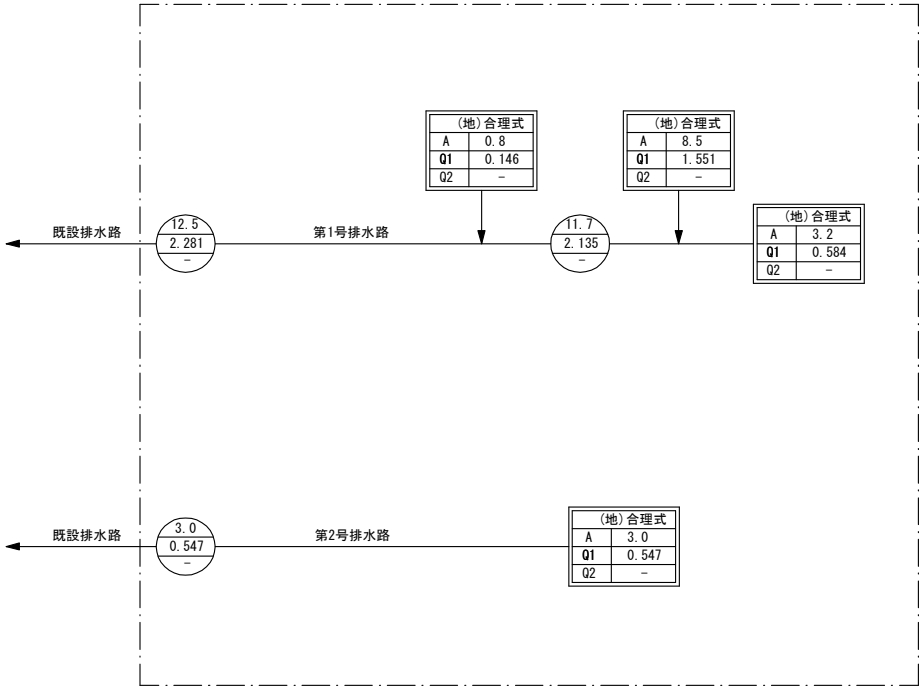
（２）排水状況

長者島工区 ---- 地区内の小排水路を経て既設排水路へ自然排水される。
東俣工区 ------ 地区内の小排水路より既設排水路を経て「砂防指定河川東俣川」へ自然排水される。
菱田工区 ------ 地区内の小排水路を経て「一級河川保倉川」へ自然排水される。
直峰工区 ------ 地区内の小排水路を経て既設排水路へ自然排水される。
菖蒲工区 ------ 地区内の小排水路より既設排水路を経て「一級河川堀切川」及び「普通河川堀切川」へ自然排水される。
坊金工区 ------ 地区内の小排水路より既設排水路を経て「砂防指定河川向鎌沢川」へ自然排水される。

（ア）排水系統

現況排水系統模式図のとおり。

長者島工区　現況・計画排水系統模式図

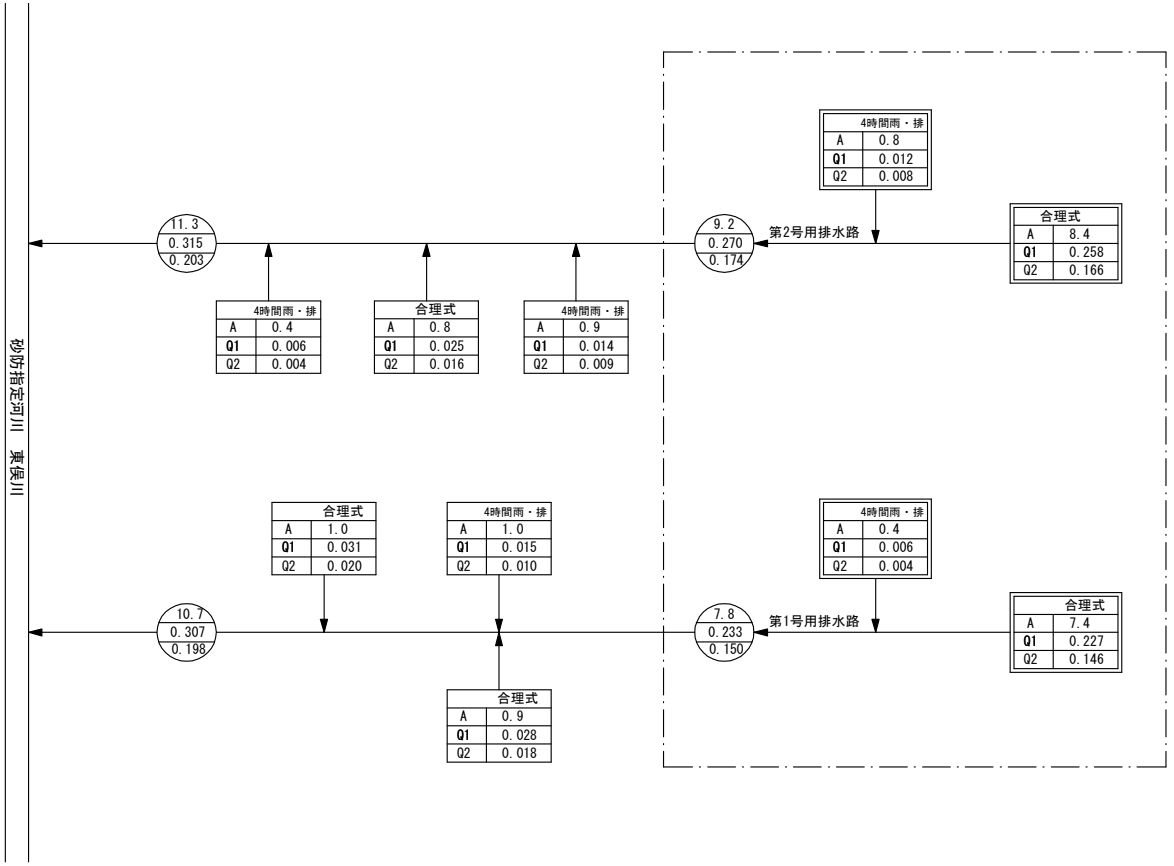


	単位排水量 (m^3/s/ha)		
	合理式	4時間雨量 4時間排除	(地) 合理式
1/10	－	－	0.18248
1/2	－	－	－

凡　例

- 他事業又は既設利用
- 地区界
- 本地区
  - 路線名
  - 面積
  - 排水量 1/10
  - 排水量 1/2
- 地区外
  - 路線名
  - 面積
  - 排水量 1/10
  - 排水量 1/2
- 合理式 4時間雨量4時間排除
  - 面積
  - 排水量1/10
  - 排水量1/2

東俣工区　現況・計画排水系統模式図



	単位排水量 (m^3/s/ha)	
	合理式	4時間雨量 4時間排除
1/10	0.03067	0.01536
1/2	0.01978	0.00989

凡　例

他事業又は既設利用

地区界

本地区

路線　名
面　積
排水量　1/10
排水量　1/2

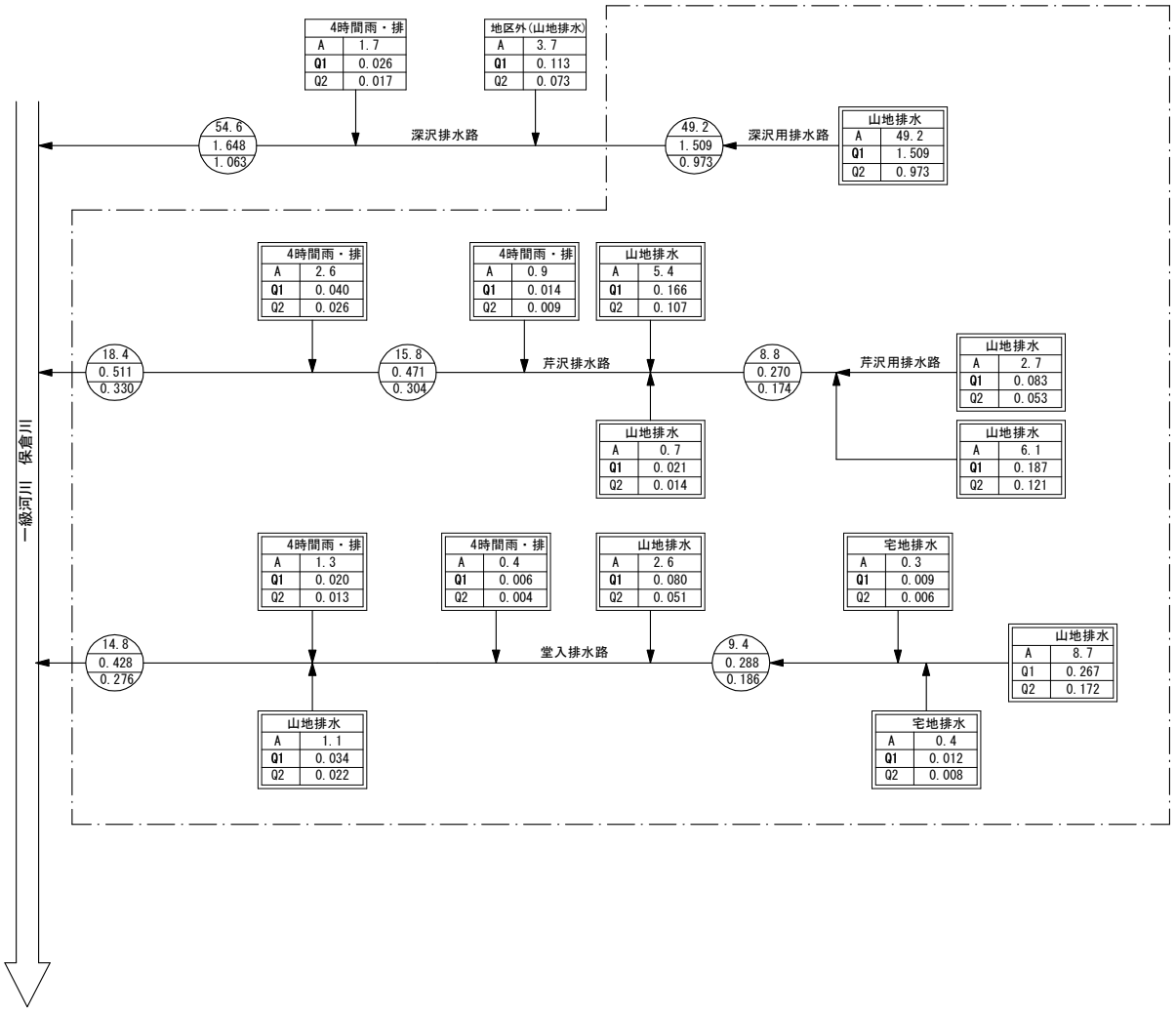
地区外

路線　名
面　積
排水量　1/10
排水量　1/2

面積
排水量1/10
排水量1/2

合理式
4時間雨量4時間排除

菱田工区　現況・計画排水系統模式図



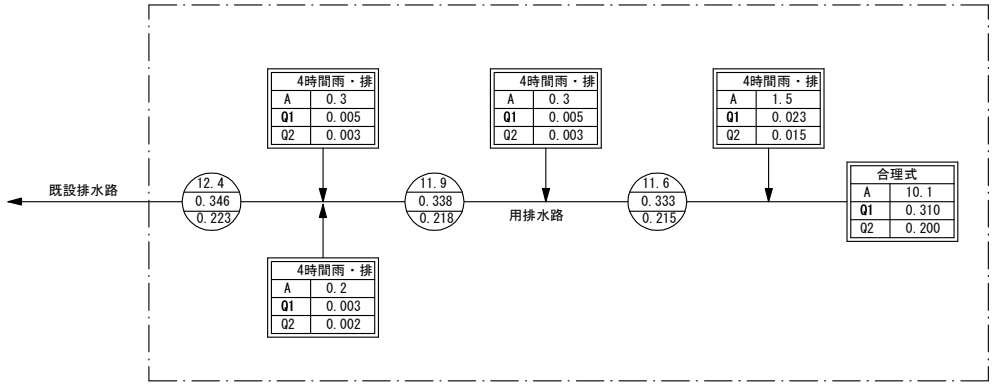
	単位排水量 ($m^3/s/ha$)	
	山地排水（合理式）	4時間雨量4時間排除
1/10	0.03067	0.01536
1/2	0.01978	0.00989

※宅地排水は合理式

凡　例

- 他事業又は既設利用
- 地区界
- 本地区
  - 路線名
  - 面積
  - 排水量 1/10
  - 排水量 1/2
- 地区外
  - 路線名
  - 面積
  - 排水量 1/10
  - 排水量 1/2
- 合理式 4時間雨量4時間排除
  - 面積
  - 排水量1/10
  - 排水量1/2

直峰工区　現況・計画排水系統模式図



	単位排水量 (m³/s/ha)	
	合理式	4時間雨量 4時間排除
1/10	0.03067	0.01536
1/2	0.01978	0.00989

凡　例

他事業又は既設利用

地区界

本地区

路線名
面積
排水量 1/10
排水量 1/2

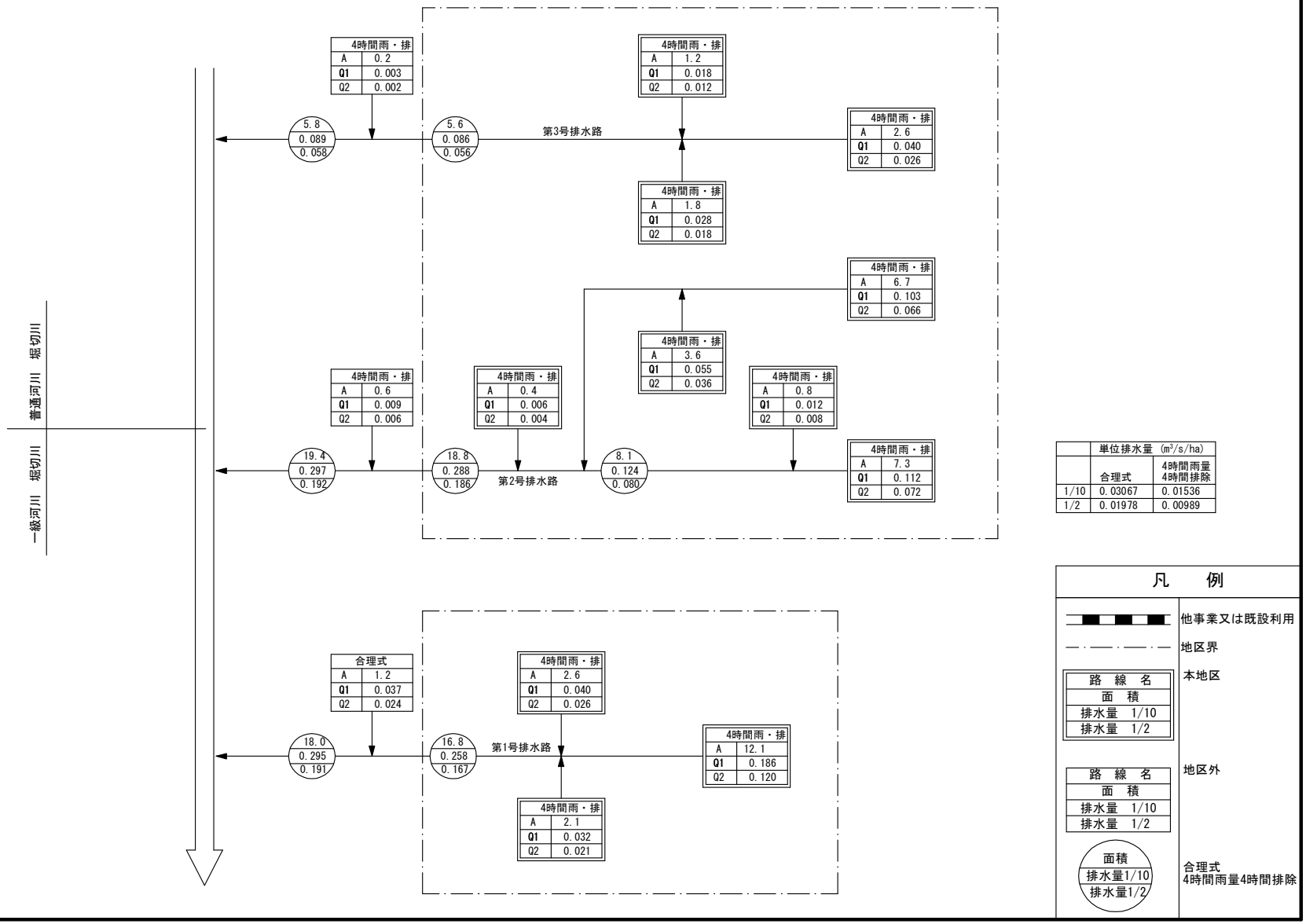
地区外

路線名
面積
排水量 1/10
排水量 1/2

面積
排水量1/10
排水量1/2

合理式
4時間雨量4時間排除

菖蒲工区　現況・計画排水系統模式図

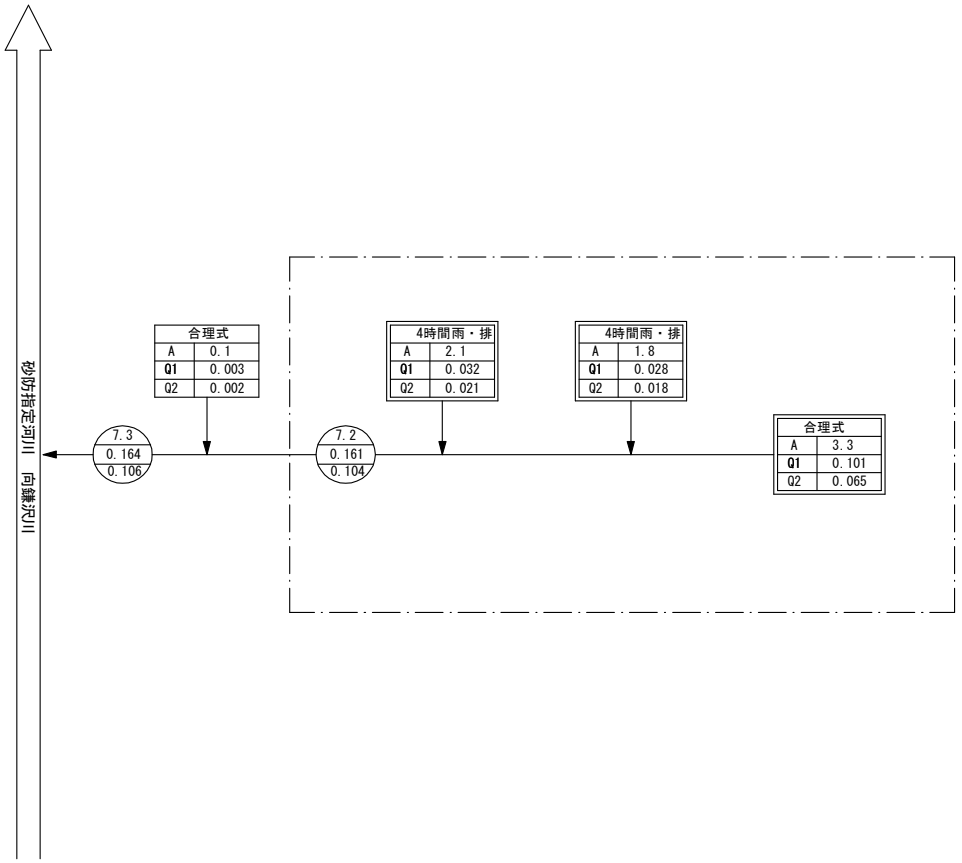


	単位排水量 (m^3/s/ha)	
	合理式	4時間雨量 4時間排除
1/10	0.03067	0.01536
1/2	0.01978	0.00989

凡　例

- 他事業又は既設利用
- 地区界
- 本地区
  - 路線名
  - 面積
  - 排水量 1/10
  - 排水量 1/2
- 地区外
  - 路線名
  - 面積
  - 排水量 1/10
  - 排水量 1/2
- 合理式
  - 面積
  - 排水量1/10
  - 排水量1/2
- 4時間雨量4時間排除

坊金工区　現況・計画排水系統模式図



	単位排水量 (m³/s/ha)	
	合理式	4時間雨量 4時間排除
1/10	0.03067	0.01536
1/2	0.01978	0.00989

凡　例

他事業又は既設利用

地区界

本地区

路線名
面積
排水量 1/10
排水量 1/2

地区外

路線名
面積
排水量 1/10
排水量 1/2

面積
排水量1/10
排水量1/2

合理式
4時間雨量4時間排除

（イ）排水方法一覧

事業名	項目／施設名		排水面積 500ha以上 箇所	排水面積 500ha以上 ha	排水面積 500～100ha 箇所	排水面積 500～100ha ha	排水面積 100ha未満 箇所	排水面積 100ha未満 ha	計 箇所	計 ha	排水慣行 (m^3/s)		慣行水利権等 (m^3/s)		備考
農業用用排水施設整備	自然	排水路					12	175.9	12	175.9					一級河川保倉川 一級河川堀切川 普通河川堀切川 砂防指定河川 既設排水路
		水門													
	機械	排水機													
		水門及び排水路													
		排水機及び排水路													
合計							12	175.9	12	175.9					

※用排兼用水路を含む

（ウ）改修を要する施設一覧表

事業名	項目／施設名		施設名又は箇所数	受益面積(ha)	構造	規模	新設年度又は更新年度	改修を必要とする理由	備考
農業用用排水施設整備	自然	排水路	9	25.3	BF300～500 HF400×300～800×700 半円形断面(500)	L=1.6km	昭和40年代～平成9年	老朽化 破損 断面不足	
		水門							
	機械	排水機							
		水門及び排水路							
		排水機及び排水路							
合計									

※用排兼用水路は用水施設にて計上

（3）河川状況

該当なし

4．道路概況

該当なし

5．営農状況

該当なし

第4節　地域環境の概況

本地区は、標高100mから700m程度の比較的なだらかな丘陵が連なる中山間地域である。
また全国有数の豪雪地帯で、古来より天水田の棚田が多く形成され、水稲を主体とした農業生産活動の維持による地域環境・景観の保全が行われてきた地域である。

第３章　　基 本 計 画

第１節　事業計画の要旨

１．　要　旨

本事業計画は、地域農業の阻害要因を解消し、安定した水源の確保と水管理合理化、適切な排水による維持管理費の削減と営農コスト縮減を図る。これにより持続可能な農業を実現し、農業経営の安定と地域農業の維持・発展を目指す。

２．　事業別面積

事業名 / 土地利用区分 / 事業目的	農業用用排水施設整備						農用地改良保全						計	備　考
	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草地 (ha)	果樹園 (ha)	⋮ (ha)	小計 (ha)	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草地 (ha)	果樹園 (ha)	⋮ (ha)	小計 (ha)	(ha)	
農業用用水路	42.1	0.1	－	－		42.2	－	－	－	－		－	42.2	
農業用排水路	27.0	－	－	－		27.0	－	－	－	－		－	27.0	
暗渠排水	－	－	－	－		－	34.3 35.5 (18.4) (20.8)	－	－	－		34.3 35.5 (18.4) (20.8)	34.3 35.5 (18.4) (20.8)	(　)農業用用排水施設整備と重複
計	69.1	0.1	－	－		69.2	34.3 35.5 (18.4) (20.8)	－	－	－		34.3 35.5 (18.4) (20.8)	85.1 83.9	

第２節　営農計画及び土地利用計画

１．　営農計画の概要

農業用用排水施設の整備による維持管理経費削減と維持管理労力の軽減、農用地改良による農業用機械の作業効率向上と作付作物の収益向上を図る。

２．　土地利用区分

事業名	土地利用区分／区分	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	その他の樹園地 (ha)	小計 (ha)	原野 (ha)	山林 (ha)	その他 (ha)	合計 (ha)	備考
農業用用排水施設整備	現況	69.1	0.1	－	－	－	69.2				69.2	
	計画	69.1	0.1	－	－	－	69.2				69.2	
農用地改良保全	現況	34.3 35.5 (18.4) (20.8)	－	－	－	－	34.3 35.5 (18.4) (20.8)				34.3 35.5 (18.4) (20.8)	( )農業用用排水施設整備と重複
	計画	34.3 35.5 (18.4) (20.8)	－	－	－	－	34.3 35.5 (18.4) (20.8)				34.3 35.5 (18.4) (20.8)	〃
計	現況	85.0 83.8	0.1	－	－	－	85.1 83.9				85.1 83.9	
	計画	85.0 83.8	0.1	－	－	－	85.1 83.9				85.1 83.9	

３．　環境との調和への配慮

本地区は東頸城丘陵にあり、全国でも有数の地すべり地域である。耕地や集落の多くが地すべり面に位置しているため、棚田やため池、水路が持つ多面的機能は国土保全において大きな役割を果たしている。また、農業生産活動と人々の生活、地域の歴史・文化が調和した独自の景観が形成されている。

このため、事業により動植物の生息環境が変化し、施設が持つ多面的機能が損なわれないよう、施設計画は現況に近い形で行うとともに、工事に伴う河川への濁水や仮設道路の建設などによる森林伐採等、景観にも配慮を行う。

第３節　用水計画

１．　計画基準年

本地区の計画基準年は、近傍地区の他事業諸元を参考に用水基準年を設定する。
グループⅠ：昭和52年(1977年)［東俣工区、虫川工区、菱田工区、中猪子田工区、直峰工区］
グループⅡ：平成12年(2000年)［竹平工区、細越工区、坊金工区］
グループⅢ：昭和50年(1975年)［菖蒲工区］

２．　計画かんがい方式

（１）計画かんがい期間

グループⅠ…水　稲：5月1日～8月31日（代掻き5月1日～5月3日）
　　畑作物：　――――
グループⅡ…水　稲：5月5日～9月4日（代掻き5月5日～5月7日）
　　畑作物：　――――
グループⅢ…水　稲：5月10日～9月1日（代掻き5月10日～5月14日）
　　畑作物：　――――

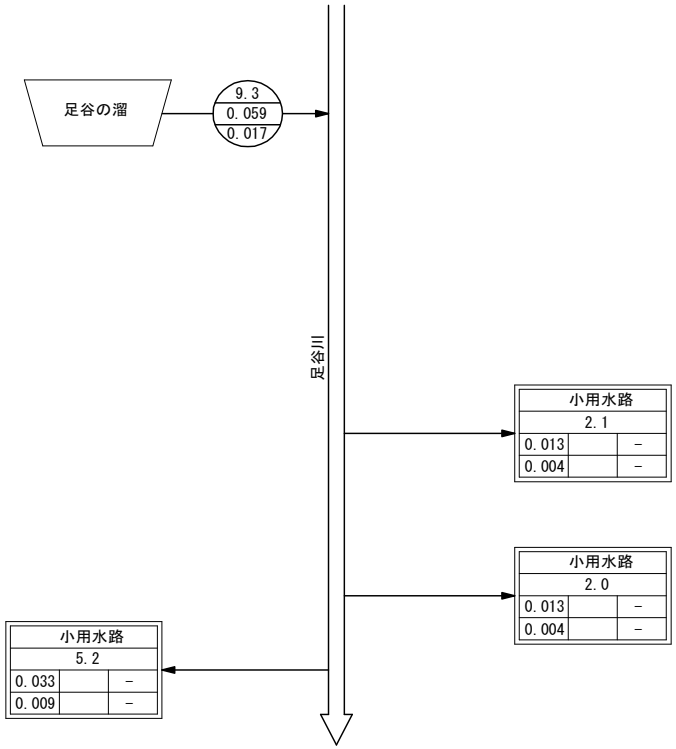
（２）計画かんがい方式

竹平工区 ------- ため池を用水源とし、開水路方式によりかんがいしている。
細越工区 ------- 一級河川保倉川から揚水機で取水した水をため池に貯留し、自然圧によるパイプライン方式にてかんがいしている。
東俣工区 ------- 渓流水及びため池を用水源とし、開水路方式によりかんがいしている。
虫川工区 ------- 一級河川細野川から井堰より取水し、開水路方式によりかんがいしている。
菱田工区 ------- 渓流水を用水源とし、開水路方式によりかんがいしている。
直峰工区 ------- 渓流水を用水源とし、開水路方式によりかんがいしている。
中猪子田工区 --- 一級河川保倉川から揚水機にて取水し、開水路方式にてかんがいしている。
菖蒲工区 ------- 一級河川堀切川を用水源とし、自然取水による開水路方式にてかんがいしている。
坊金工区 ------- 渓流水をため池に導水し、開水路方式及びエンジンポンプによる直接取水にてかんがいしている。

３．　計画用水系統

計画用水系統模式図のとおり。

竹平工区　現況・計画用水系統模式図



単位用水量 (m³/s/ha)	
代掻期	普通期
0.006264	0.001771

凡　例

ため池

取水工

他事業又は既設利用

地区界

本地区分

（イ）		
（ロ）		
（ハ）	（ニ）	（ト）
（ホ）	（ヘ）	（ト）

（イ）路線名
（ロ）面　積
（ハ）代掻期所要水量
（ニ）代掻期利用可能量
（ホ）普通期所要水量
（ヘ）普通期利用可能量
（ト）不足量

地区外分

（イ）		
（ロ）		
（ハ）	（ニ）	（ト）
（ホ）	（ヘ）	（ト）

通水量

（イ）
（ロ）
（ハ）

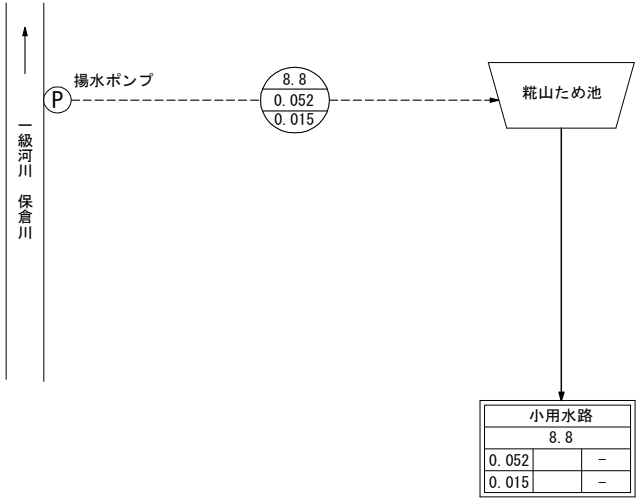
（イ）面　積
（ロ）代掻期通水量
（ハ）普通期通水量

還元水量

（イ）
（ロ）
（ハ）

（イ）面　積
（ロ）代掻期還元水量
（ハ）普通期還元水量

細越工区　現況・計画用水系統模式図



単位用水量 (m³/s/ha)	
代掻期	普通期
0.005916	0.001672

凡　例

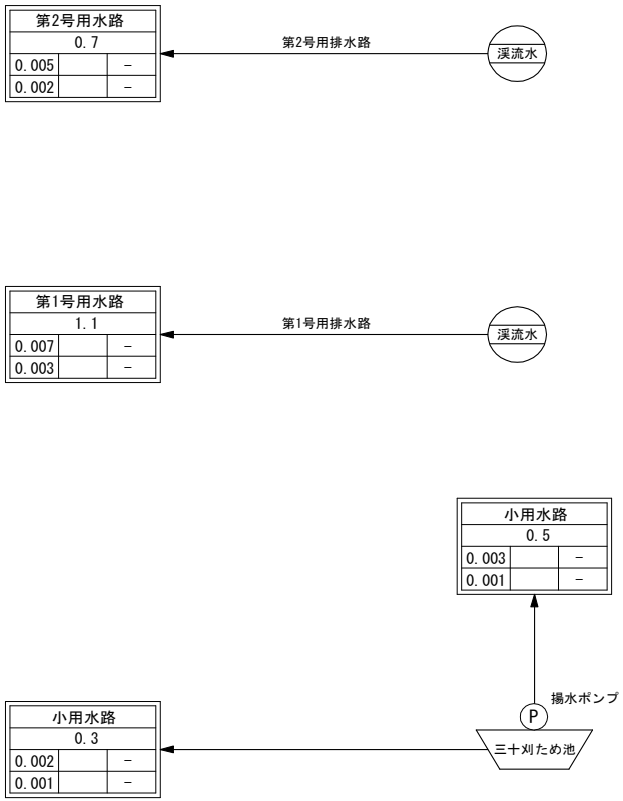


（イ）路線名
（ロ）面　積
（ハ）代掻期所要水量
（ニ）代掻期利用可能量
（ホ）普通期所要水量
（ヘ）普通期利用可能量
（ト）不足量

（イ）面　積
（ロ）代掻期通水量
（ハ）普通期通水量

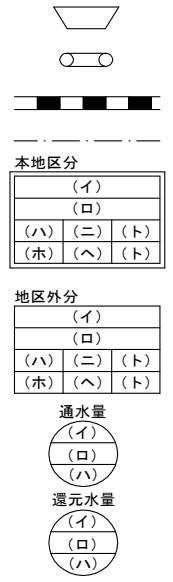
（イ）面　積
（ロ）代掻期還元水量
（ハ）普通期還元水量

東俣工区　現況・計画用水系統模式図



単位用水量 (m³/s/ha)	
代掻期	普通期
0.006445	0.002315

凡　例

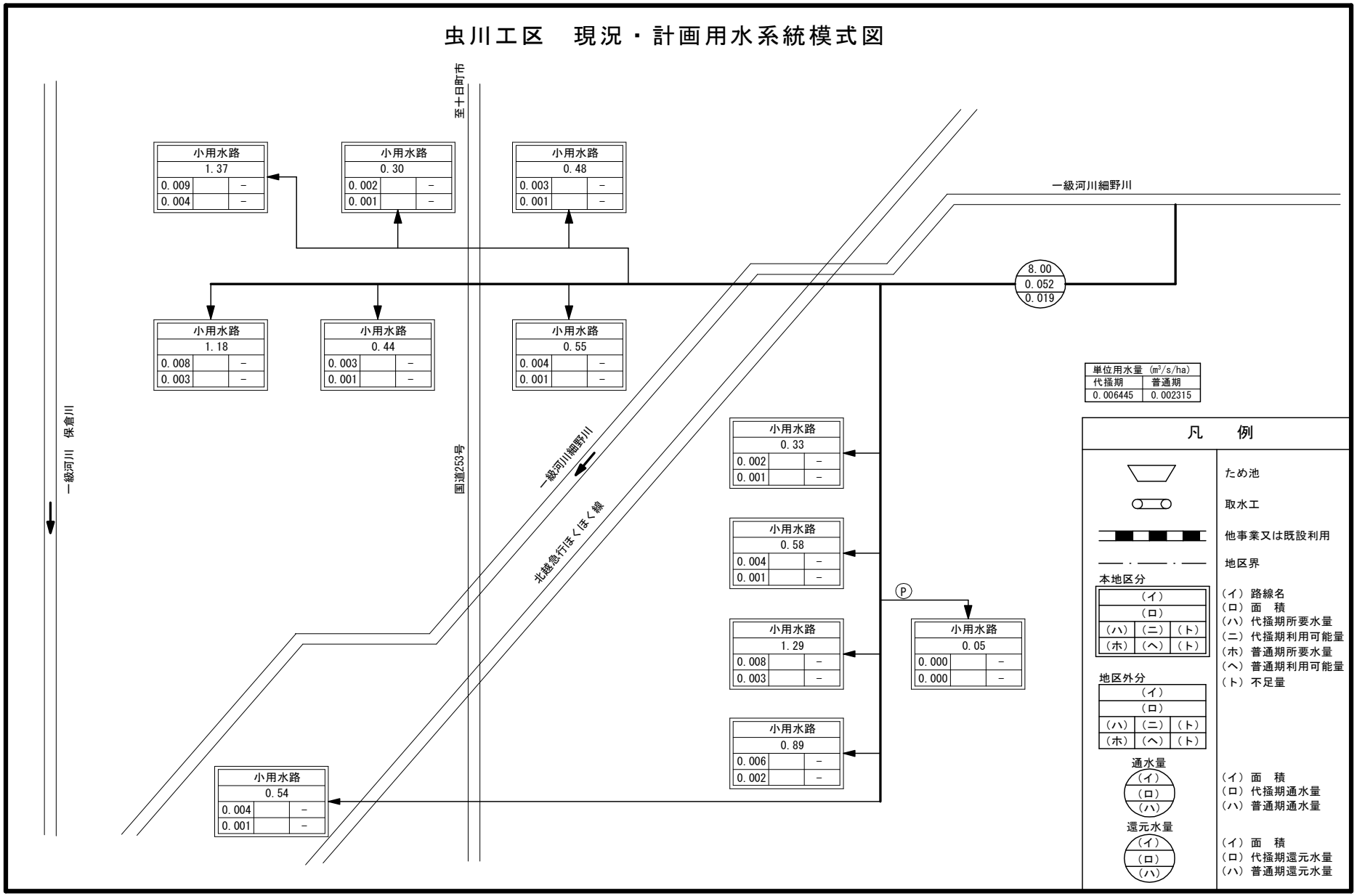


（イ）路線名
（ロ）面　積
（ハ）代掻期所要水量
（ニ）代掻期利用可能量
（ホ）普通期所要水量
（ヘ）普通期利用可能量
（ト）不足量

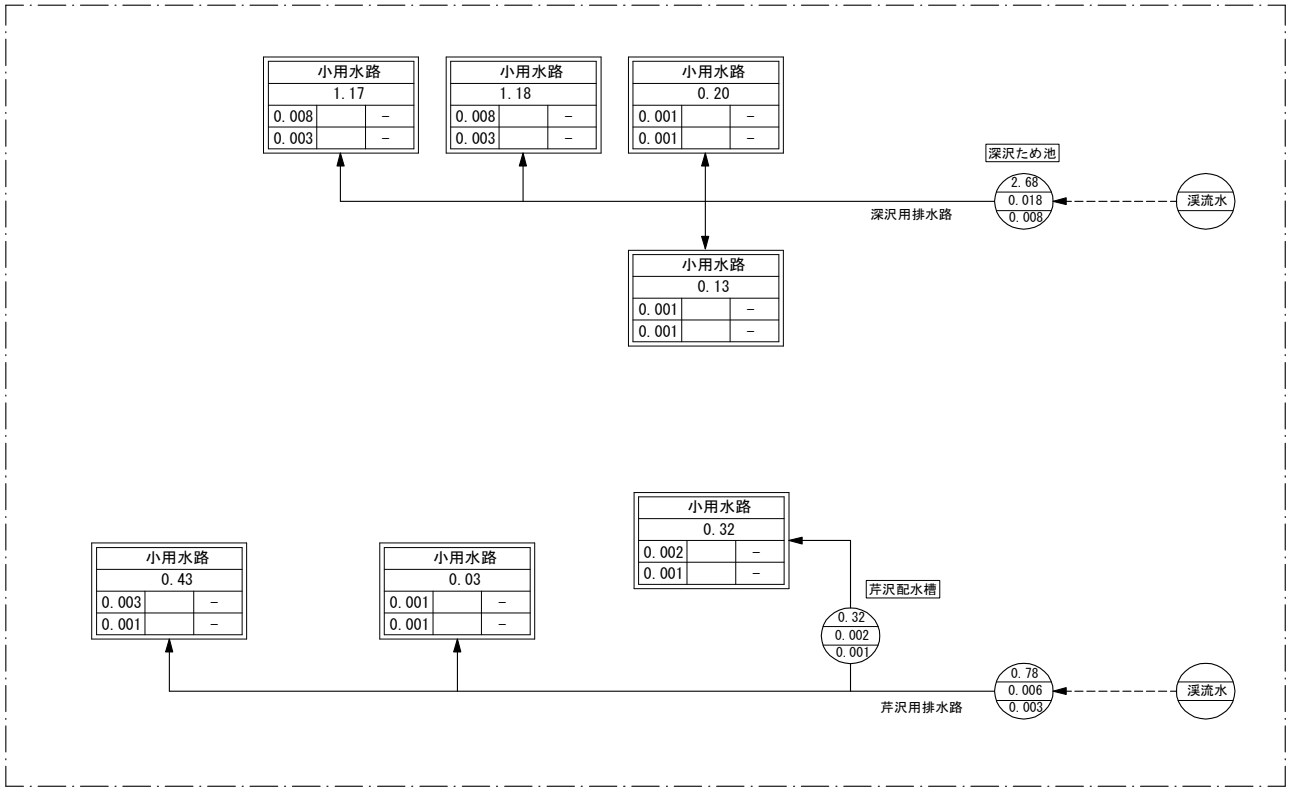
（イ）面　積
（ロ）代掻期通水量
（ハ）普通期通水量

（イ）面　積
（ロ）代掻期還元水量
（ハ）普通期還元水量

虫川工区　現況・計画用水系統模式図



菱田工区　計画用水系統模式図



単位用水量 (m³/s/ha)	
代掻期	普通期
0.006445	0.002315

凡　例

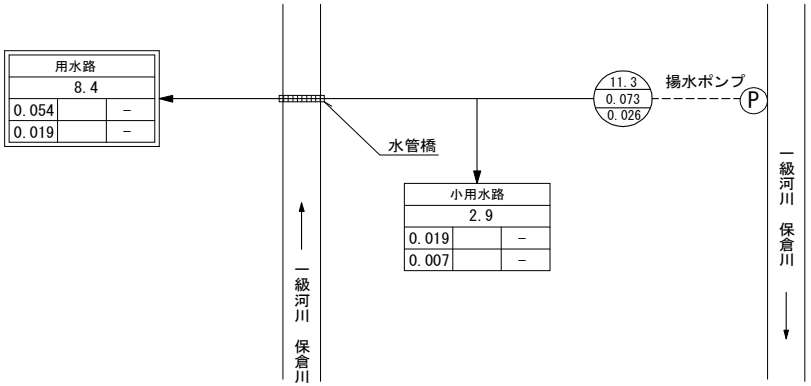


(イ) 路線名
(ロ) 面　積
(ハ) 代掻期所要水量
(ニ) 代掻期利用可能量
(ホ) 普通期所要水量
(ヘ) 普通期利用可能量
(ト) 不足量

(イ) 面　積
(ロ) 代掻期通水量
(ハ) 普通期通水量

(イ) 面　積
(ロ) 代掻期還元水量
(ハ) 普通期還元水量

中猪子田工区　現況・計画用水系統模式図



単位用水量 (m³/s/ha)	
代掻期	普通期
0.006445	0.002315

凡　例

	ため池
	取水工
	他事業又は既設利用
	地区界

本地区分

（イ）		
（ロ）		
（ハ）	（ニ）	（ト）
（ホ）	（ヘ）	（ト）

（イ）路線名
（ロ）面　積
（ハ）代掻期所要水量
（ニ）代掻期利用可能量
（ホ）普通期所要水量
（ヘ）普通期利用可能量
（ト）不足量

地区外分

（イ）		
（ロ）		
（ハ）	（ニ）	（ト）
（ホ）	（ヘ）	（ト）

通水量

（イ）
（ロ）
（ハ）

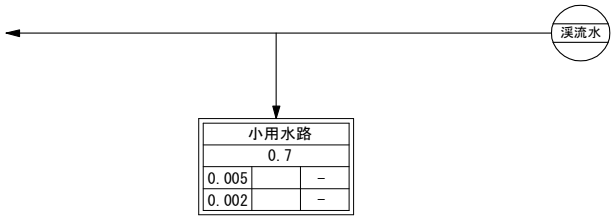
（イ）面　積
（ロ）代掻期通水量
（ハ）普通期通水量

還元水量

（イ）
（ロ）
（ハ）

（イ）面　積
（ロ）代掻期還元水量
（ハ）普通期還元水量

直峰工区　現況・計画用水系統模式図

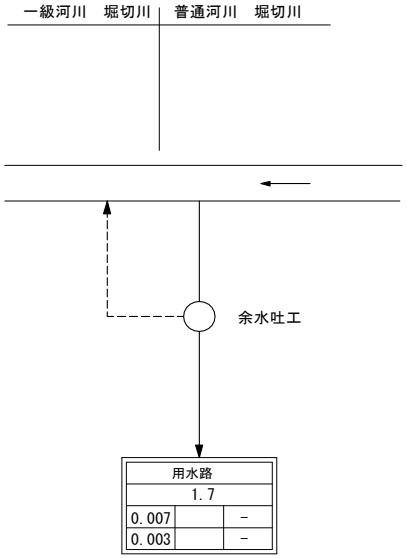


単位用水量 (m³/s/ha)	
代掻期	普通期
0.006445	0.002315

凡　例

	ため池
	取水工
	他事業又は既設利用
	地区界
本地区分 （イ） （ロ） （ハ）（ニ）（ト） （ホ）（ヘ）（ト）	（イ）路線名 （ロ）面　積 （ハ）代掻期所要水量 （ニ）代掻期利用可能量 （ホ）普通期所要水量 （ヘ）普通期利用可能量 （ト）不足量
地区外分 （イ） （ロ） （ハ）（ニ）（ト） （ホ）（ヘ）（ト）	
通水量 （イ） （ロ） （ハ）	（イ）面　積 （ロ）代掻期通水量 （ハ）普通期通水量
還元水量 （イ） （ロ） （ハ）	（イ）面　積 （ロ）代掻期還元水量 （ハ）普通期還元水量

菖蒲工区　計画用水系統模式図

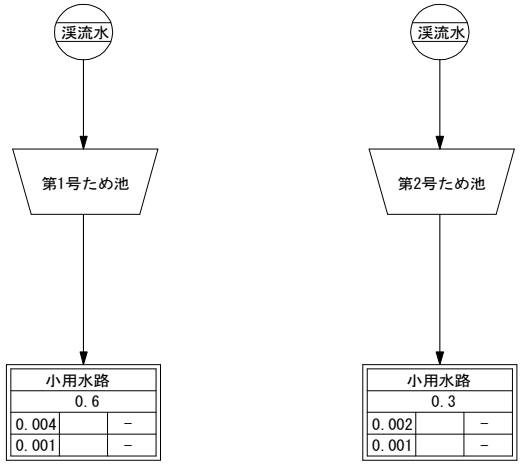


単位用水量 (m³/s/ha)	
代掻期	普通期
0.004031	0.001906

凡　例

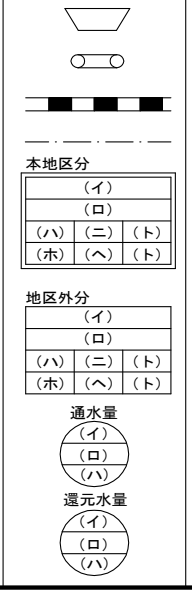
	ため池
	取水工
	他事業又は既設利用
	地区界
本地区分 （イ） （ロ） （ハ）（ニ）（ト） （ホ）（ヘ）（ト）	（イ）路線名 （ロ）面　積 （ハ）代掻期所要水量 （ニ）代掻期利用可能量 （ホ）普通期所要水量 （ヘ）普通期利用可能量 （ト）不足量
地区外分 （イ） （ロ） （ハ）（ニ）（ト） （ホ）（ヘ）（ト）	
通水量 （イ） （ロ） （ハ）	（イ）面　積 （ロ）代掻期通水量 （ハ）普通期通水量
還元水量 （イ） （ロ） （ハ）	（イ）面　積 （ロ）代掻期還元水量 （ハ）普通期還元水量

坊金工区　現況・計画用水系統模式図



単位用水量 ($m^3/s/ha$)	
代掻期	普通期
0.006264	0.001771

凡　例



（イ）路線名
（ロ）面　積
（ハ）代掻期所要水量
（ニ）代掻期利用可能量
（ホ）普通期所要水量
（ヘ）普通期利用可能量
（ト）不足量

（イ）面　積
（ロ）代掻期通水量
（ハ）普通期通水量

（イ）面　積
（ロ）代掻期還元水量
（ハ）普通期還元水量

4．　計画用水量

項目 / 系統名	種別	面積 (ha)	水田かんがい			水田畑利用			畑地かんがい			その他		消費水量 (m^3/s)	損失率 (%)	粗用水量		備考
			普通期	代かき期	面積 (ha)	平均かん水深一日当たり計画 (mm/日)	平均間断日数 (日)	面積 (ha)	平均かん水深一日当たり計画 (mm/日)	平均間断日数 (日)	面積 (ha)	単位用水量計画平均 (mm/日)	面積 (ha)			平均 (m^3/s)	最大 (m^3/s)	
			単位用水量計画平均 (mm/日)	単位用水量計画代かき (mm)														
竹平工区	農業用水	9.3	13	120	9.3	—	—	—	—	—	—	—	—	(0.050) 0.014	15	0.017	0.059	( )内は代掻き期
細越工区	農業用水	8.8	13	120	8.8	—	—	—	—	—	—	—	—	(0.047) 0.013	10	0.015	0.052	〃
東俣工区	農業用水	2.6	17	120	2.6	—	—	—	—	—	—	—	—	(0.014) 0.005	15	0.007	0.017	〃
虫川工区	農業用水	8.0	17	120	8.0	—	—	—	—	—	—	—	—	(0.044) 0.016	15	0.019	0.052	〃
菱田工区	農業用水	3.5	17	120	3.5	—	—	—	—	—	—	—	—	(0.020) 0.009	15	0.011	0.024	〃
中猪子田工区	農業用水	8.4	17	120	8.4	—	—	—	—	—	—	—	—	(0.046) 0.016	15	0.019	0.054	〃
直峰工区	農業用水	0.7	17	120	0.7	—	—	—	—	—	—	—	—	(0.004) 0.002	15	0.002	0.005	〃
菖蒲工区	農業用水	1.7	14	120	1.7	—	—	—	—	—	—	—	—	(0.006) 0.002	15	0.003	0.007	〃
坊金工区	農業用水	0.9	13	120	0.9	—	—	—	—	—	—	—	—	(0.005) 0.002	15	0.002	0.006	〃
計		43.9												(0.236) 0.079		0.095	0.276	〃

５．　水源計画

（１）水利用計画

区分＼項目		消費水量	有効雨量	純用水量	粗用水量	現況利用可能水量			不足水量		水源依存量		水源工種	備考
						水源名	取水地点利用可能量	ほ場利用可能量	純不足水量	全不足水量	水源名	水量		
		a（千m³）	b（千m³）	$C=a-b$（千m³）	$d=\frac{C}{(1-\alpha)}$（千m³）		e（千m³）	f（千m³）	$g=c-f$（千m³）	$h=d-e$（千m³）		（千m³）		損失率：α
農業用用排水施設整備	水田かんがい竹平工区	158	－	158	192	足谷の溜	192	192	－	－	－	－	－	15%
	〃 細越工区	147	－	147	169	保倉川	169	169	－	－	－	－	－	10%
	〃 東俣工区	55	－	55	77	渓流水	77	77	－	－	－	－	－	15%
	〃 虫川工区	177	－	177	210	細野川	210	210	－	－	－	－	－	15%
	〃 菱田工区	98	－	98	120	渓流水	120	120	－	－	－	－	－	15%
	〃 中猪子田工区	178	－	178	211	保倉川	211	211	－	－	－	－	－	15%
	〃 直峰工区	22	－	22	22	渓流水	22	22	－	－	－	－	－	15%
	〃 菖蒲工区	22	－	22	32	渓流水	32	32	－	－	－	－	－	15%
	〃 坊金工区	22	－	22	22	渓流水	22	22	－	－	－	－	－	15%
	計	879	－	879	1,055		1,055	1,055	－	－		－		

第４節　排水計画

１．　計画基準雨量

区　　分	日　雨　量	摘　　要
1/2確率年	87.1 mm/day	観測所名：安塚観測所　1953年(昭和28年)～2012年(平成24年) 水文資料：新潟県農地部水文統計資料（第13版　H26.3）
1/10確率年	135.4 mm/day	

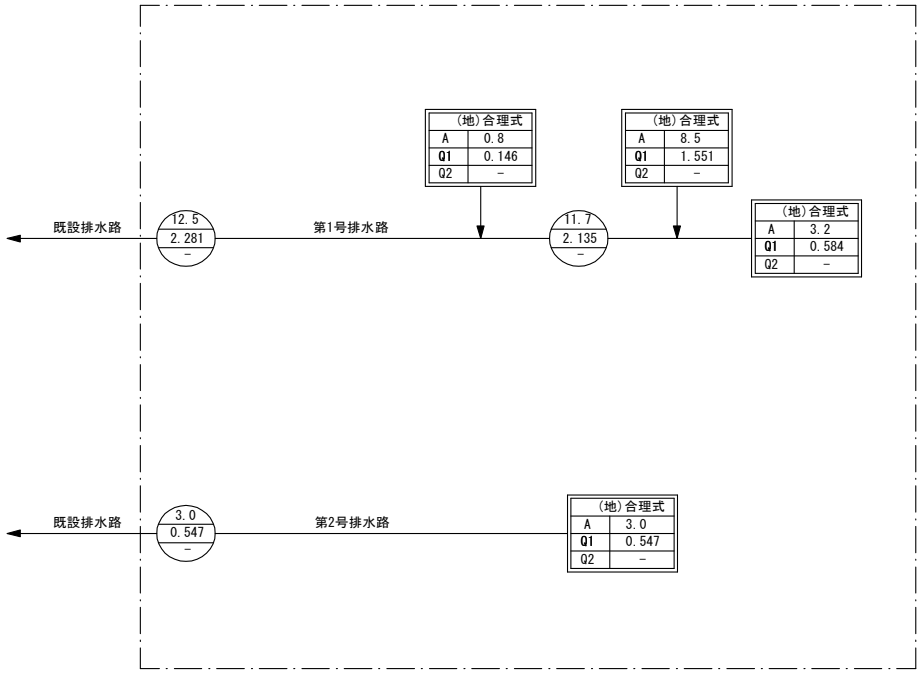
２．　計画排水方式

長者島工区 ---- 地区内の小排水路を経て既設排水路へ自然排水される。
東俣工区 ------ 地区内の小排水路より既設排水路を経て「砂防指定河川東俣川」へ自然排水される。
菱田工区 ------ 地区内の小排水路を経て「一級河川保倉川」へ自然排水される。
直峰工区 ------ 地区内の小排水路を経て既設排水路へ自然排水される。
菖蒲工区 ------ 地区内の小排水路より既設排水路を経て「一級河川堀切川」及び「普通河川堀切川」へ自然排水される。
坊金工区 ------ 地区内の小排水路より既設排水路を経て「砂防指定河川向鎌沢川」へ自然排水される。

３．　計画排水系統

計画排水系統模式図のとおり。

長者島工区　現況・計画排水系統模式図

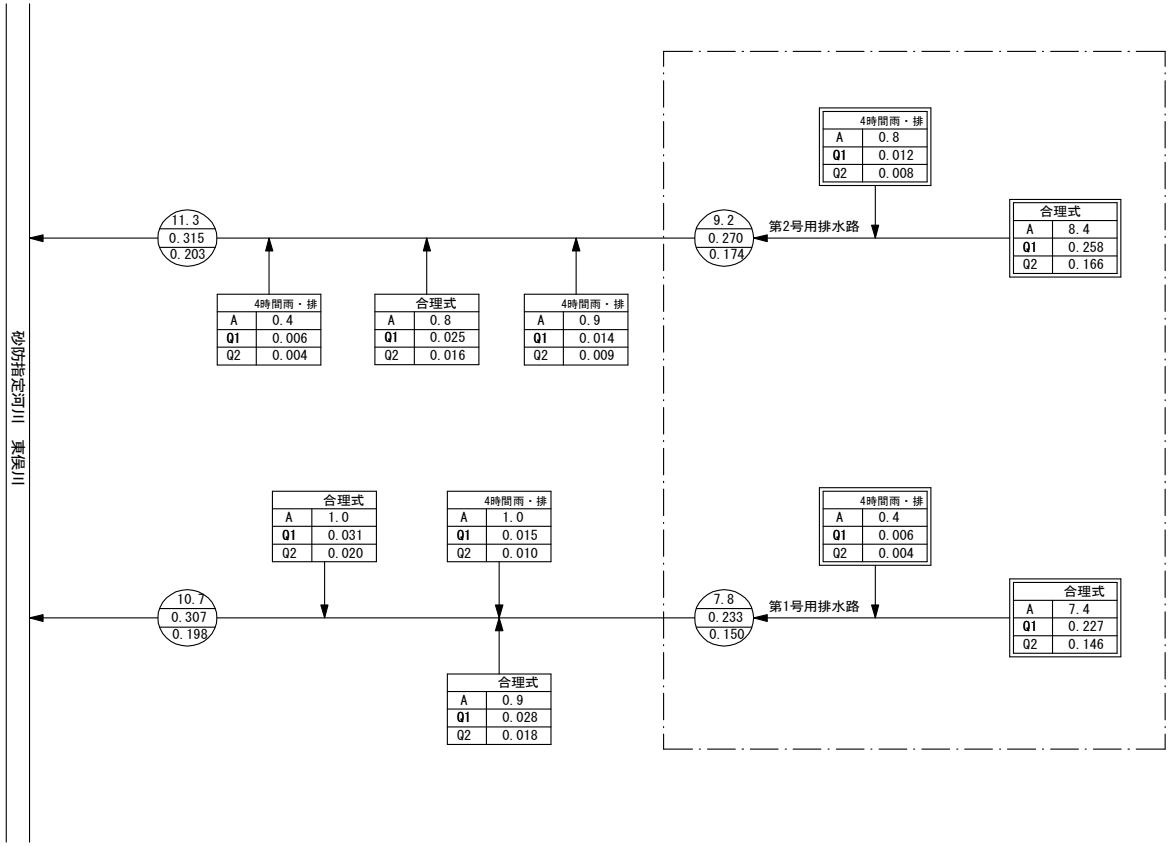


	単位排水量 (m³/s/ha)		
	合理式	4時間雨量 4時間排除	(地) 合理式
1/10	–	–	0.18248
1/2	–	–	–

凡　例

	他事業又は既設利用
	地区界
路線名 面積 排水量 1/10 排水量 1/2	本地区
路線名 面積 排水量 1/10 排水量 1/2	地区外
面積 排水量1/10 排水量1/2	合理式 4時間雨量4時間排除

東俣工区　現況・計画排水系統模式図

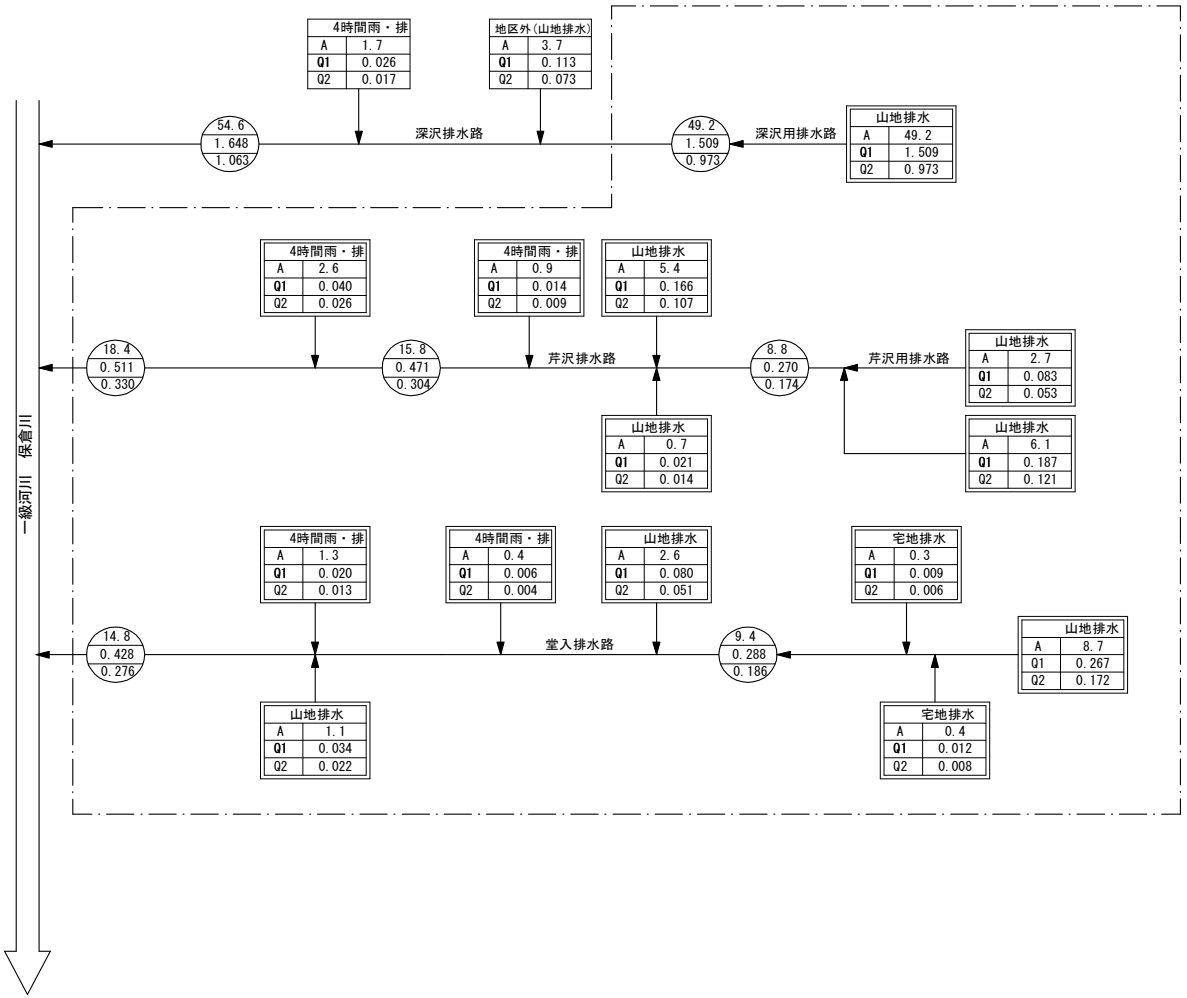


	単位排水量 (m³/s/ha)	
	合理式	4時間雨量 4時間排除
1/10	0.03067	0.01536
1/2	0.01978	0.00989

凡　例

- 他事業又は既設利用
- 地区界
- 本地区
  - 路線名
  - 面積
  - 排水量 1/10
  - 排水量 1/2
- 地区外
  - 路線名
  - 面積
  - 排水量 1/10
  - 排水量 1/2
- 面積 / 排水量1/10 / 排水量1/2　合理式 4時間雨量4時間排除

菱田工区　現況・計画排水系統模式図



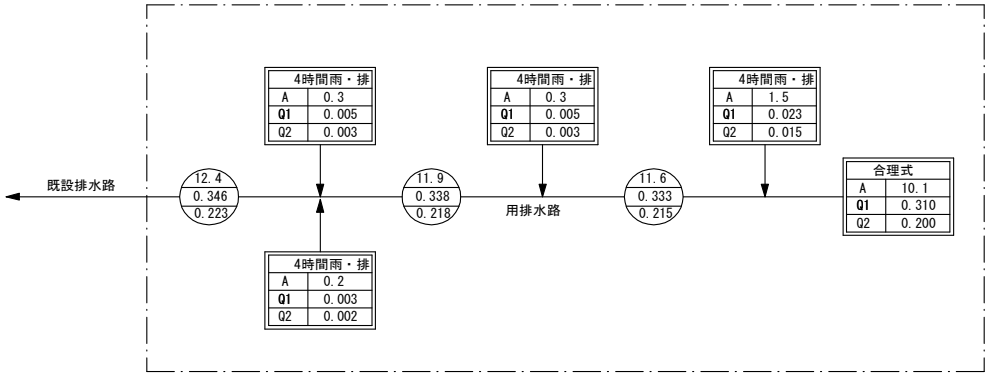
	単位排水量 (m³/s/ha)	
	山地排水（合理式）	4時間雨量 4時間排除
1/10	0.03067	0.01536
1/2	0.01978	0.00989

※宅地排水は合理式

凡　例

- 他事業又は既設利用
- 地区界
- 本地区
  - 路線名
  - 面積
  - 排水量 1/10
  - 排水量 1/2
- 地区外
  - 路線名
  - 面積
  - 排水量 1/10
  - 排水量 1/2
- 合理式 4時間雨量4時間排除
  - 面積
  - 排水量1/10
  - 排水量1/2

直峰工区　現況・計画排水系統模式図



	単位排水量 (m^3/s/ha)	
	合理式	4時間雨量 4時間排除
1/10	0.03067	0.01536
1/2	0.01978	0.00989

凡　例

他事業又は既設利用

地区界

本地区

路線名
面積
排水量 1/10
排水量 1/2

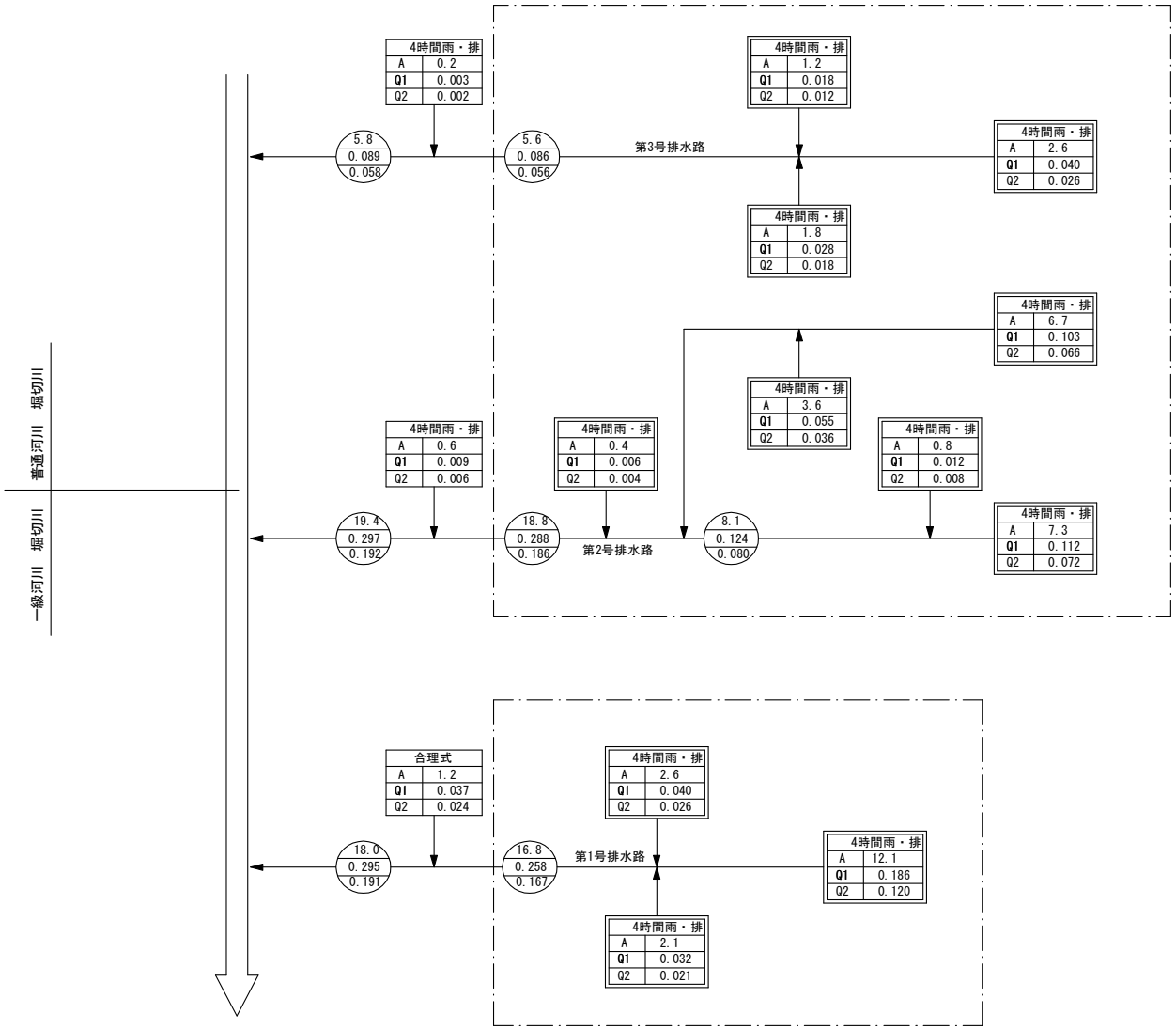
地区外

路線名
面積
排水量 1/10
排水量 1/2

面積
排水量1/10
排水量1/2

合理式
4時間雨量4時間排除

菖蒲工区　現況・計画排水系統模式図

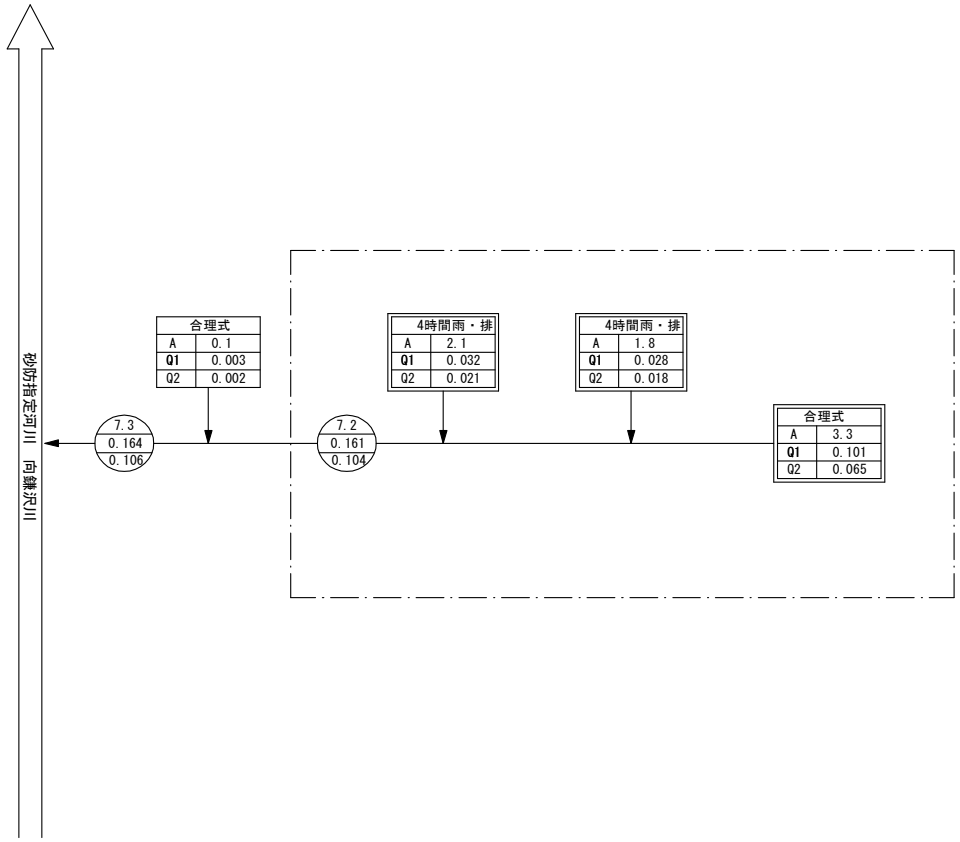


	単位排水量 (m³/s/ha)	
	合理式	4時間雨量 4時間排除
1/10	0.03067	0.01536
1/2	0.01978	0.00989

凡　例

- 他事業又は既設利用
- 地区界
- 本地区
  - 路線名
  - 面積
  - 排水量 1/10
  - 排水量 1/2
- 地区外
  - 路線名
  - 面積
  - 排水量 1/10
  - 排水量 1/2
- 合理式
  - 面積
  - 排水量1/10
  - 排水量1/2
- 4時間雨量4時間排除

坊金工区　現況・計画排水系統模式図



	単位排水量 (m³/s/ha)	
	合理式	4時間雨量 4時間排除
1/10	0.03067	0.01536
1/2	0.01978	0.00989

凡　例

他事業又は既設利用

地区界

本地区

路線名
面積
排水量 1/10
排水量 1/2

地区外

路線名
面積
排水量 1/10
排水量 1/2

面積
排水量1/10
排水量1/2

合理式
4時間雨量4時間排除

4．　計画排水量

項目 / 系統排水名	受益面積 (ha)	流域面積 (km^2) 山地	流域面積 (km^2) 平地	基準雨量 (mm)	降雨による直接単位流出量 ($m^3/s/km^2$) 山地	降雨による直接単位流出量 ($m^3/s/km^2$) 平地	基底流出量 ($m^3/s/km^2$) 山地	基底流出量 ($m^3/s/km^2$) 平地	全排水量 (m3/s) 山地	全排水量 (m3/s) 平地 自然排水	全排水量 (m3/s) 平地 機械排水	単位排水量 ($m^3/s/km^2$) 山地	単位排水量 ($m^3/s/km^2$) 平地	備考
長者島工区排水路	7.7	0.155	—	(mm/h) 82.1	18.248	—	—	—	2.828	—	—	18.248	—	地すべり基準
菱田工区排水路	5.2	0.280	0.052	135.4	3.067	1.536	—	—	0.859	0.080	—	3.067	1.536	
菖蒲工区排水路	10.1	—	0.412	135.4	—	1.536	—	—	—	0.632	—	3.067	1.536	
坊金工区排水路	2.3	0.033	0.039	135.4	3.067	1.536	—	—	0.101	0.060	—	3.067	1.536	
計	25.3	0.468	0.503		—	—	—	—	3.788	0.772	—			

※用排兼用水路は用水施設にて計上

第４章　　工事又は管理の要領

第１節　工事の内容

項目 / 施設名	工　事　内　容	事　業　量	規模・構造	備　　考
用排水施設	用排水施設整備	L=3.0km	BF300～1000,BFC400,BFC-F400 ポリエチレン管φ350,HPφ400 BFB500～900、余水吐施設1箇所 HF400×300～800×700	
	ファームポンド、配水槽新設	2箇所	土堤・合成ゴムシート張 鉄筋コンクリート構造	
ため池	取水施設改修	1箇所	取水栓φ100×5門 鋼製ｽﾗｲﾄﾞｹﾞｰﾄ□800×800	
	漏水防止	4箇所	合成ゴムシート張	
暗渠排水	農用地改良	34.3ha A=35.5ha	集水渠(塩ビ管Vuφ75～125) 吸水渠(素焼土管φ75)	
農業集落防災安全施設整備	排水施設整備	L=0.2km	BF500	

第２節　管理の要領

１．　管理者

施設名	管理者	備　　考
本事業により造成される土地改良施設	上越市	

２．　管理方法に関する基本的事項

関係者と協議して利用するものとする。
管理は、地元関係者と協力して行う。

第５章　　換地計画の要領

該当なし

第６章　費用の概算

（単位：千円）

事業名等 / 区分	農業用用排水施設整備	農用地改良保全	農業集落防災安全施設整備	合計	備考
主要工事	525,000	318,700 210,000	21,000	864,700 756,000	13,400千円 内工事雑費　12,600千円 26,700千円 内地方事務費　23,400千円
附帯工事	－	－	－	－	

（単位：千円）

事業名等	区分	工事費				工事雑費				地方事務費			
		国	県	市町村	地元	国	県	市町村	地元	国	県	市町村	地元
農業用用排水施設整備	負担率	% 55.0	% 32.0	% 11.0	% 2.0	%	% 100.0	%	%	%	% 100.0	%	%
	負担金額	275,000	160,000	55,000	10,000		8,750				16,250		
農用地改良保全	負担率	% 55.0	% 32.0	% 11.0	% 2.0	%	% 100.0	%	%	%	% 100.0	%	%
	負担金額	167,530 110,000	97,472 64,000	33,506 22,000	6,092 4,000		4,300 3,500				9,800 6,500		
農業集落防災安全施設整備	負担率	% 55.0	% 32.0	% 11.0	% 2.0	%	% 100.0	%	%	%	% 100.0	%	%
	負担金額	11,000	6,400	2,200	400		350				650		
合計	負担率	% 55.0	% 32.0	% 11.0	% 2.0	%	% 100.0	%	%	%	% 100.0	%	%
	負担金額	453,530 396,000	263,872 230,400	90,706 79,200	16,492 14,400		13,400 12,600				26,700 23,400		

第７章　効　用

事業名等	項目	年総効果（便益）額	年総増加農業所得額	備　考
農業用用排水施設整備	作物生産効果	21,229	－	総費用（現在価値化）＝　721,888　千円
	営農経費節減効果	10,731	－	総便益（現在価値化）＝　871,741　千円
	維持管理費節減効果	0	－	総費用総便益比＝871,741 / 721,888 ＝ 1.20
	災害防止効果(農業関係資産)	6,268	－	
	国産農産物安定供給効果	2,901	－	総所得償還率＝ 690 / 18,899 ×100 ＝ 3.7 %
	計	41,129	0	
農用地改良保全	作物生産効果	1,743 1,804	1,939 2,007	総費用（現在価値化）＝　190,771 197,446　千円
	営農経費節減効果	12,493 12,931	12,493 12,931	総便益（現在価値化）＝　256,377 265,347　千円
	国産農産物安定供給効果	237 246	－	総費用総便益比＝ 256,377 / 265,347 ÷ 190,771 / 197,446 ＝ 1.34
				増加所得償還率＝ 267 / 276 ÷ 14,432 / 14,938 ×100 ＝ 1.9 %
	計	14,473 14,981	14,432 14,938	
農業集落防災安全施設整備	作物生産効果	0	－	総費用（現在価値化）＝　21,924　千円
	営農経費節減効果	△ 39	－	総便益（現在価値化）＝　32,139　千円
	維持管理費節減効果	0	－	総費用総便益比＝32,139 / 21,924 ＝ 1.46
	災害防止効果(農業関係資産)	1,766	1,766	
	国産農産物安定供給効果	0	－	総所得償還率＝ 32 / 515 ×100 ＝ 6.3 %
	計	1,727	1,766	
合計	作物生産効果	22,972 23,033	1,939 2,007	総費用（現在価値化）＝　928,706 934,790　千円
	営農経費節減効果	23,220 23,662	12,493 12,931	総便益（現在価値化）＝　1,161,009 1,170,055　千円
	維持管理費節減効果	0	－	総費用総便益比＝ 1,161,009 / 1,170,055 ÷ 928,706 / 934,790 ＝ 1.25
	災害防止効果(農業関係資産)	8,034	1,766	
	国産農産物安定供給効果	3,138 3,147	－	総所得償還率＝ 985 994 / 28,305 28,635 ×100 ＝ 3.5 %
	計	57,364 57,876	16,198 16,704	

第８章　他の事業との関連

該当なし

第９章　計画概要図

別紙のとおり

令和３年度新規採択希望
農業用用排水施設整備・農用地改良保全（中山間地域農業農村総合整備）事業

変更前

新潟県　東頸北部地区　計画一般図

縮尺　1：100,000

区分	事業種目	番号	団地名：路線名	受益(ha)	事業量	事業費(千円)
農業生産基盤整備	農業用用排水施設整備	①	竹平：用水路	2.0	L= 841.0 m	50,200
		②	竹平：堰堤(ゲート)	9.3	N= 1 箇所	43,600
		③	細越：糀山ため池	8.8	N= 1 箇所	25,700
		④	長者島：第1号排水路	5.8	L= 138.5 m	30,300
		⑤	長者島：第2号排水路	1.9	L= 66.0 m	13,300
		⑥	東俣：第1号用排水路	1.1	L= 70.0 m	11,700
		⑦	東俣：第2号用排水路	0.7	L= 57.0 m	11,900
		⑧	東俣：三十刈ため池	0.8	N= 1 箇所	14,200
		⑨	虫川：細野川用水路	8.0	L= 142.0 m	51,800
		⑩	菱田：深沢用水路	2.7	L= 23.2 m	4,300
		⑪	菱田：深沢ﾌｧｰﾑﾎﾟﾝﾄﾞ	2.7	N= 1 箇所	20,500
		⑫	菱田：芹沢用水路	0.8	L= 96.0 m	8,900
		⑬	菱田：芹沢配水槽	0.3	N= 1 箇所	6,500
		⑭	菱田：芹沢第1号排水路	3.2	L= 281.0 m	4,000
		⑮	菱田：芹沢第2号排水路	0.5	L= 215.0 m	17,000
		⑯	菱田：堂入第1号排水路	2.0	L= 257.0 m	2,700
		⑰	中猪子田：水管橋	8.4	L= 28.0 m	28,900
		⑱	直峰：用排水路	0.7	L= 147.0 m	23,100
		⑲	菖蒲：第1号排水路	3.8	L= 259.0 m	43,700
		⑳	菖蒲：第2号排水路	3.4	L= 172.0 m	16,100
		㉑	菖蒲：第3号排水路	2.9	L= 150.0 m	22,800
		㉒	菖蒲：用水路余水吐工	1.7	N= 1 箇所	7,200
		㉓	坊金：排水路	2.3	L= 80.5 m	21,900
		㉔	坊金：第1号ため池	0.6	N= 1 箇所	9,700
		㉕	坊金：第2号ため池	0.3	N= 1 箇所	10,000
	小計			74.7		500,000
	暗渠排水	①	竹平	10.0	A= 10.0 ha	55,800
		②	東俣	1.6	A= 1.6 ha	10,200
		③	菖蒲	18.6	A= 18.6 ha	102,300
		④	坊金①	1.0	A= 1.0 ha	6,900
		⑤	坊金②	4.3	A= 4.3 ha	24,800
	小計			35.5	A= 35.5 ha	200,000
	計			(110.2) 83.9	竹平の重複A=9.7ha除く 東俣の重複A= 1.4ha除く 菱田の重複A= 3.5ha除く 菖蒲の重複A=11.2ha除く 坊金の重複A= 0.5ha除く	700,000
農村振興環境整備	農業集落排水施設整備	①	菱田：堂入第2号排水路	-	L= 178.0 m	20,000
	計					20,000
	合計			(110.2) 83.9		720,000

凡　例
- 事業区域
- 高速道路
- 国道
- 主要地方道・県道
- 河川
- 農業用用排水施設
- 暗渠排水
- 用排水受益
- 農業集落排水施設

県内位置図　東頸北部地区

主要地方道柿崎牧線
主要地方道上越安塚浦川原線
国道403号
一級河川小黒川
一級河川細野川
国道253号
国道405号
一般県道菖蒲棚岡線
一般県道菖蒲高原線
主要地方道上越安塚柏崎線
一級河川田麦川
主要地方道大潟高柳線
一級河川保倉川
十日町市

令和３年度着工
農業用用排水施設整備・農用地改良保全（中山間地域農業農村総合整備）事業

新潟県　東頸北部地区　計画一般図

変更後

縮尺　1：100,000

区分	事業種目	番号	団地名：路線名	受益（ha）	事業量
農業生産基盤整備	農業用用排水施設整備	①	竹平：用水路	2.0	L= 841.0 m
		②	竹平：堰堤（ゲート）	9.3	N= 1 箇所
		③	細越：糀山ため池	8.8	N= 1 箇所
		④	長者島：第1号排水路	5.8	L= 138.5 m
		⑤	長者島：第2号排水路	1.9	L= 66.0 m
		⑥	東俣：第1号用排水路	1.1	L= 70.0 m
		⑦	東俣：第2号用排水路	0.7	L= 57.0 m
		⑧	東俣：三十刈ため池	0.8	N= 1 箇所
		⑨	虫川：細野川用水路	8.0	L= 142.0 m
		⑩	菱田：深沢用水路	2.7	L= 23.2 m
		⑪	菱田：深沢ﾌｧｰﾑﾎﾟﾝﾄﾞ	2.7	N= 1 箇所
		⑫	菱田：芹沢用水路	0.8	L= 96.0 m
		⑬	菱田：芹沢配水槽	0.3	N= 1 箇所
		⑭	菱田：芹沢第1号排水路	3.2	L= 281.0 m
		⑮	菱田：芹沢第2号排水路	0.5	L= 215.0 m
		⑯	菱田：堂入第1号排水路	2.0	L= 257.0 m
		⑰	中猪子田：水管橋	8.4	L= 28.0 m
		⑱	直峰：用排水路	0.7	L= 147.0 m
		⑲	菖蒲：第1号排水路	3.8	L= 259.0 m
		⑳	菖蒲：第2号排水路	3.4	L= 172.0 m
		㉑	菖蒲：第3号排水路	2.9	L= 150.0 m
		㉒	菖蒲：用水路余水吐工	1.7	N= 1 箇所
		㉓	坊金：排水路	2.3	L= 80.5 m
		㉔	坊金：第1号ため池	0.6	N= 1 箇所
		㉕	坊金：第2号ため池	0.3	N= 1 箇所
	小計			74.7	
	暗渠排水	①	竹平	8.2	A= 8.2 ha
		②	東俣	1.8	A= 1.8 ha
		③	菖蒲	18.6	A= 18.6 ha
		④	坊金①	1.0	A= 1.0 ha
		⑤	坊金②	4.7	A= 4.7 ha
	小計			34.3	A= 34.3 ha
	計			(109.0) 85.1	竹平の重複A=7.9ha除く 東俣の重複A= 0.8ha除く 菱田の重複A= 3.5ha除く 菖蒲の重複A=11.2ha除く 坊金の重複A= 0.5ha除く
農村振興環境整備	農業集落排水施設整備	①	菱田：堂入第2号排水路	-	L= 178.0 m
	計				
	合計			(109.0) 85.1	

凡　例

- 事業区域
- 高速道路
- 国道
- 主要地方道・県道
- 河川
- 農業用用排水施設
- 暗渠排水
- 用排水受益
- 農業集落排水施設

県内位置図

東頸北部地区

主要地方道柿崎牧線
主要地方道上越安塚浦川原線
一級河川保倉川
一級河川細野川
一級河川小黒川
一級河川田麦川
国道403号
国道405号
国道253号
一般県道菖蒲棚岡線
一般県道菖蒲高原線
主要地方道上越安塚柏崎線
主要地方道大潟高柳線
十日町市